DENON

DVDオーディオ・ビデオ/
スーパーオーディオCDプレーヤー

DVD-1930

取 扱 説 明 書

もくじ

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警　告

電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙がでている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

警告

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や低部などに通風孔があけてあります。次のような使いかたはしないでください。
この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。

- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず重い物をのせてしまうことがあります。

- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

- この機器の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対はずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- オーディオ機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- オーディオ機器の電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

ご注意

● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）にしたがって処理してください。

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

● ５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

● レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

注　意

● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス⊕端子とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

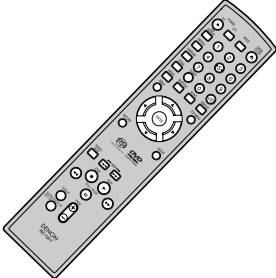
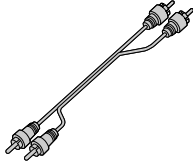
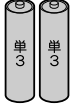
● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池室についた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

● この機器の上に10kg以上の重いものや外枠からはみでるような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

お使いになる前に

付属品が同梱されているかお確かめください。

保証書（梱包箱に貼り付けられています。）
取扱説明書（本書）　・・・・・・・・・・・・・・・1冊
製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表　・・・1部

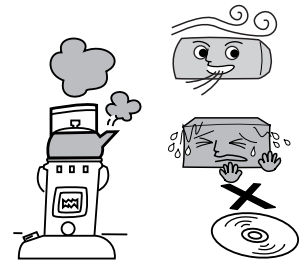
リモコン・・・１個　　音声コード・・・１本　　映像コード・・・１本　　単3乾電池・・・2個

■ 結露（つゆつき）について

● **結露が発生した場合はディスクを本機に挿入しないでください。（本機を傷めてしまいます。）**
結露が発生しているときに、ディスクを本機に挿入された場合、ディスク信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。

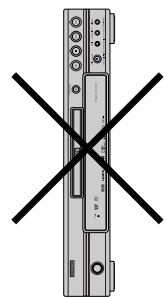
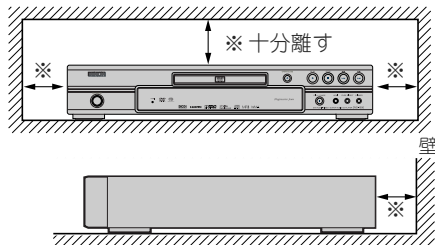
● **本機はよく乾燥した状態でお使いください。**
結露が発生した場合、電源プラグをコンセントへ差し込み、**約１～２時間乾燥するまで**放置した上で本機をご使用ください。

■ **結露とは…**
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを「**結露**」(またはつゆつき)と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のピックアップレンズやディスクに水滴がつきます。乾燥させないかぎり、本機はご使用にならないでください。

■ **次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。**
- **本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき**
- **急に部屋を暖房したとき**
- **エアコンなどの冷風が直接当たるところ**
- **湿気の多いところ**

■ ディスクの取り扱い

● 再生面(虹色に光っている面)に触れないようにディスクの端を持ってください。
● 紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
● 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)
● 使用後は、**所定のケースに入れて、保管してください**。ケースにいれずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。
● 指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。
● お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。
● ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
● 再生可能なディスクについては9ページを参照してください。
● ハート形や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

■ プレーヤーの置き場所や取り扱い

● 本機の上に、テレビなど重いものを置かないでください。画面にノイズがでたりキャビネットが変形するなど故障の原因となります。
● 不安定な場所や振動の多い場所、ほこりの多い場所には置かないでください。故障や事故の原因となります。
● 使い終わったあとは電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。
● 長期間ご使用にならないときは、ディスクを取り出し電源を切ってください。
● 本機をタテ置ではご使用にならないでください。
● 放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁やほかのAV機器などとは10cm以上離して設置してください。

お使いになる前に

■ 移動させるときは

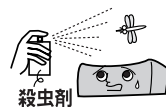
- 床などを傷つける恐れがありますので、引きずらないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- 必ずディスクを取り出し、接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

■ お手入れについて

キャビネットは…

中性洗剤

- キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。

- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

■ リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地方自治体の規制にしたがって処分してください。

■ 著作権について

- **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
- **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- **DVD はDVDフォーマットロゴライセシング株式会社の登録商標です。**

■ 本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

本機のプログレッシブ出力（525P/480P）は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては本機プログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪い影響が生じる可能性があります。
プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、映像設定でプログレッシブの設定を“オフ”にしてください。

■ この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVD-V	**DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。（本文ではDVDビデオと表現します。）**
DVD-A	**DVDオーディオディスクで楽しめる機能を表します。（本文ではDVDオーディオと表現します。）**
CD	**音楽用CDで楽しめる機能を表します。（本文では音楽用CDと表現します。）**
SUPER AUDIO CD	**SUPER AUDIO CDで楽しめる機能を表します。（本文ではスーパーオーディオCDと表現します。）**
VCD	**ビデオCDで楽しめる機能を表します。（本文ではビデオCDと表現します。）**
MP3	**MP3が記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。**
WMA	**WMA（Windows Media Audio）が記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。**
JPEG	**JPEGが記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。**

あどばいす **操作上、気を付けていただきたい情報を表します。**

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行っています。

■ 再生できるディスク

本機では、下表のディスクを再生できます。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの内容	ディスク盤の大きさ
DVDオーディオ <*1>	DVD AUDIO	デジタル音声 ＋ デジタル映像 (MPEG2方式)	12cm盤
DVDビデオ <*1>	DVD VIDEO　DVD VIDEO リージョン番号 2　ALL 左記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク		
DVD-R <*2><*3>	DVD R　DVD R		8cm盤
DVD-RW <*2><*3>	DVD RW　DVD RW		
スーパーオーディオCD	SUPER AUDIO CD　Stereo Multi-ch	デジタル音声	12cm盤
ビデオCD <*1> NTSC方式のビデオCD	VIDEO CD　COMPACT disc DIGITAL VIDEO	デジタル音声 ＋ デジタル映像 (MPEG1方式)	12cm盤 8cm盤
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	デジタル音声 MP3 WMA(ver.9対応) <*4> デジタル画像 (JPEG方式)	12cm盤
CD-R <*3>	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable　COMPACT disc Recordable		
CD-RW <*3>	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable　COMPACT disc ReWritable		8cm盤
ピクチャーCD	Kodak Picture CD COMPATIBLE	デジタル画像 (JPEG方式)	12cm盤

<*1> DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。本機は、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなどのほかの方式で、記録されたディスクは再生できません。

<*2> 本機はDVDレコーダーでビデオフォーマット記録されたDVD-R/RWディスクを再生することができます。なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声が途切れるなど正常に再生できないことがあります。また、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

<*3> 記録状態によっては再生できない場合があります。

<*4>

Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・ディスクレーベル面に上記ロゴマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また再生できた場合であっても、画質・音質の保証は致しかねます。
・ディスクの記録状態、傷、汚れや本機のピックアップの状態により再生ができない場合があります。また、パソコンなどで作成したディスクは再生できないことがあります。

"Kodak Picture CD COMPATIBLE"は、Eastman Kodak Companyの登録商標です。

"WMA" (Windows Media Audio)は、米国マイクロソフト社の開発したオーディオコーデックです。

お使いになる前に

■ 再生できないディスク

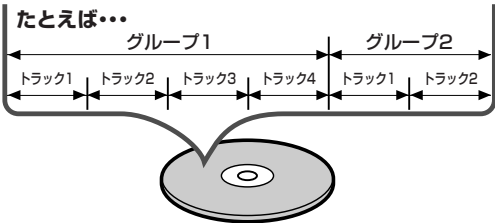
- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD　● DVD-ROM
- CD-ROM　● VSD　● CDV　● CD-G　● DVD-RAM
- CD-I　● フォトCD　など
- 特殊な形状のディスク(ハート形など)（故障の原因となります。）
- NTSC方式以外（PAL方式など）で記録されたディスク。
- CD規格外の音楽用CD（コピーコントロール付きCDなど）
- 無許可のディスク（海賊版のディスクなど）
- デュアルディスク（CD/DVD）

■ CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
■ 記録領域画少ないディスク（直径55mm以下）は再生できない場合があります。
■ DVD-R/RW、CD-R/RWを再生するとき、ディスクの記録状態が記録用機器、ディスク自体の状態、ディスクとの相性によっては再生できないことがあります。
■ ディスクにラベルや紙などを貼り付けると、再生できない場合があります。
■ VRモードで記録されたDVD-Rディスクは再生できません。

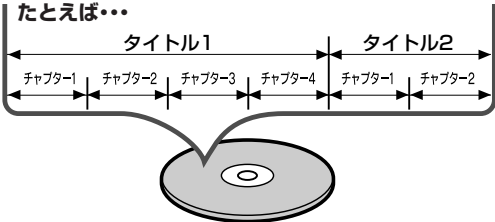
■ ディスク表示について

DVDビデオソフトに記載されている表示をご確認のうえお楽しみください。

表示	機能説明
・**リージョン番号（再生可能地域番号）を表しています。** 2　ALL	・本機は、「リージョン番号」が「ALL」または「2」の含まれるDVDビデオディスクの再生が可能です。
・**DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。**	・本機を接続するテレビの種類（ワイドテレビや4：3のテレビ）に応じた画面サイズが選べます。
4:3	・4：3の画面サイズで記録されています。
16:9 LB	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは上下に黒いバーつき（レターボックス）サイズ画像を楽しめるように記録されています。
16:9 PS	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは左右をカットした4：3の画像を楽しめるように記録されています。
・**字幕の種類を表しています。** 例：2　1：日本語 字幕 2：英語 字幕	・リモコンの字幕ボタンまたは、再生設定画面でお好みの字幕が選べます。
・**DVDビデオディスクに記録されているアングル数**（前方からの撮影画像や後方からの撮影画像）**を表しています。** 例：2	・リモコンのアングルボタンまたは、再生設定画面でお好みのアングルが選べます。
・**音声トラック数や音声記録方式を表しています。** 例：4 音声1：オリジナル<英語>（5.1chサラウンド） 音声2：日本語（ドルビーサラウンド） 音声3：ドルビーデジタル（ステレオ） 音声4：リニアPCM音声	・DVDビデオディスクに記録されている音声をリモコンの音声ボタンで切り換えることができます。

■ ディスクの構成

DVD-A

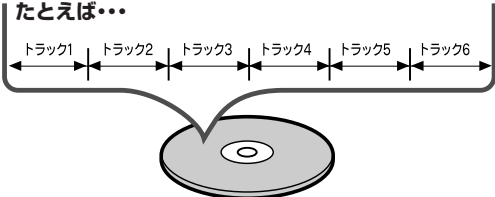
DVDオーディオディスクは、「グループ」と「トラック」で構成されています。

- グループとは、例えば複数の音楽アルバムが入っているDVDオーディオディスクで各アルバムをさします。
トラックとは各曲をさします。
- 「グループ」と「トラック」にはそれぞれ「グループ番号」と「トラック番号」が割り当てられています。

DVD-V

DVDビデオディスクは、「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。

- タイトルとは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとをさします。
- チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

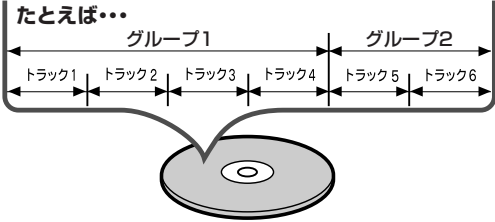
音楽用CD
ビデオCD
スーパーオーディオCD

VIDEO CD

■ 音楽用CD、ビデオCD、スーパーオーディオCDは、「トラック」に区切り構成されています。

- トラックとは、例えば複数の音楽が入っている音楽用CDやビデオCDで各曲ごとをさします。
- プレイバックコントロール（PBC）
「プレイバックコントロール付き」などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオCDの「メニュー再生」と呼びます。本機はプレイバックコントロール付きビデオCDに対応しています。

ご注意

- PBC対応ソフト再生時は、PBC機能が優先され、DVDプレーヤー側の設定（希望するところからの再生やリピート再生）は、PBC機能を一時的に解除しない限りできません。

PBC機能の解除と復活の方法

1. ビデオCDを再生する
2. STOP ■ を押す
3. 数字ボタンを押すとPBC機能が解除され、選択したトラックが再生される
4. PBC機能を復活させるには、再生中に STOP ■ を2回押した後、 PLAY ▶ を押す
   - PBC機能が復活し、タイトルメニューが画面上に表示されます。

CD-R/RW(MP3、WMA、JPEGファイル形式)

MP3、WMA、JPEGのデータは「トラック（ファイル)」と「グループ（フォルダ)」に区切り構成されています。MP3などのファイル形式についての詳細は、26ページをご覧ください。

- トラック（ファイル）とは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。
- グループ（フォルダ）とは、いくつかの「トラック（ファイル)」をまとめたものをさします。

お使いになる前に

■ おもな特長

スーパーオーディオCDマルチチャンネル再生対応 [➡ 53ページ]
- DVDオーディオ/ビデオの再生に加え、スーパーオーディオCD（100kHzをカバーする再生周波数範囲を持つ、原音に極めて近い音を再現するCD）のマルチチャンネルディスク再生に対応。最大5.1chの出力が可能です。

プログレッシブ [➡ 19ページ]
- 接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレーススキャン方式よりちらつきの少ない高密度の映像を楽しむことができます。

ドルビーデジタル、DTSデコーダー搭載 [➡ 21ページ]
- ドルビーデジタル/DTSデコーダーを内蔵していますので、AVアンプやスピーカーと組み合わせて、映画館やホールにいるような臨場感がお楽しみいただけます。

HDMI接続 [➡ 22ページ]
- HDMI端子のある機器と1本のケーブル（市販品）で接続するだけで、DVDビデオなどのデジタル映像とDVDビデオやDVDオーディオのマルチチャンネル音声のデジタル再生をすることができます。

早送り、早戻し、一時停止（静止）、コマ送り再生、スロー再生 [➡ 30、32〜33ページ]
- 早送り再生、早戻し再生、静止画、コマ送り再生、スロー再生などの再生ができます。

ランダム再生 [➡ 38ページ]
- 本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

プログラム再生 [➡ 36〜37ページ]
- 本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

ディスクメニュー言語切り換え [➡ 60〜62ページ]
- DVDソフトに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

オートパワーオフ機能 [➡ 76〜77ページ]
- 初期設定でオートパワーオフ機能を[オン]に設定した場合、静止状態で30分間入力がないと、電源が自動的に切れます。

希望する言語で字幕を表示 [➡ 48、60〜62ページ]
- 希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

カメラアングルの選択 [➡ 49ページ]
- 異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➡ 46〜47、60〜62ページ]
- 複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

視聴制限設定 [➡ 74〜75ページ]
- 視聴制限レベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を、制限することができます。

ディスクの自動判別
- DVDソフト、音楽用CDなど、再生できるディスクの種類を自動的に判別して再生します。

MP3/WMA/JPEG再生 [➡ 26〜28、37〜38ページ]
- CD-RやCD-RWに記録されたMP3/WMA/JPEGファイルを再生することができます。

黒レベル設定 [➡ 51ページ]
- 暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくすることができます。

バーチャルサラウンド [➡ 51ページ]
- バーチャルサラウンドを楽しむことができます。

画面表示 [➡ 56〜58ページ]
- 各時点で行っている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、(プログラム再生などの)その時点に有効になっている機能を確認することができます。

サーチ [➡ 40〜45ページ]
- チャプターサーチ：
  ユーザーが指定したチャプターをサーチすることができます。
- タイトルサーチ：
  ユーザーが指定したタイトルをサーチすることができます。
- トラックサーチ：
  ユーザーが指定したトラックをサーチすることができます。
- タイムサーチ：
  ユーザーが指定した時間でサーチすることができます。
- グループサーチ：
  ユーザーが指定したグループをサーチすることができます。
- ページサーチ：
  ユーザーが指定したページをサーチすることができます。
- ボーナスグループサーチ：
  ボーナスグループが記録されているDVDオーディオディスクを再生します。

リピート [➡ 34〜35ページ]
- チャプター、タイトル、トラック：
  再生中のディスクのチャプター、タイトル、トラックを繰り返して再生することができます。
- オール（DVDオーディオ、スーパーオーディオCD、音楽用CD、ビデオCD、MP3、WMA、JPEG）：
  再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
- A-B：
  ユーザーが指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。
- グループ：
  DVDオーディオ、MP3、WMA、JPEGで再生中のフォルダを繰り返して再生することができます。

ズーム [➡ 50ページ]
- 2倍または4倍に拡大した画面を表示させることができます。

つづき再生(リジューム機能) [➡ 31ページ]
- 再生をストップした位置から再生することができます。

ビットレート表示 [➡ 56ページ]
- ディスクの画像情報量を示します。

DRC [➡ 66〜69ページ]
- 音量範囲をコントロールします。

マーカー [➡ 54ページ]
- ユーザーが指定した位置を呼び出すことができます。

LPCM変換（ダウンサンプリング） [➡ 66~69ページ]
- 96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに設定することができます。

スクリーンセーバー
- 本機が停止している状態で、5分間何も入力がないときに起動し、接続しているテレビの明るさを75%下げます。起動中に何か入力すると、スクリーンセーバーは解除されます。

ピュアダイレクト機能 [➡ 55ページ]
- HDMI出力、ビデオ信号出力、本体表示パネルの表示を止め、アナログ音声のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

ディマー機能 [➡ 55ページ]
- 本体表示パネルの明るさを調整することができます。

P-offリジューム [➡ 31ページ]
- 電源を切っても、つづきから再生することができます。

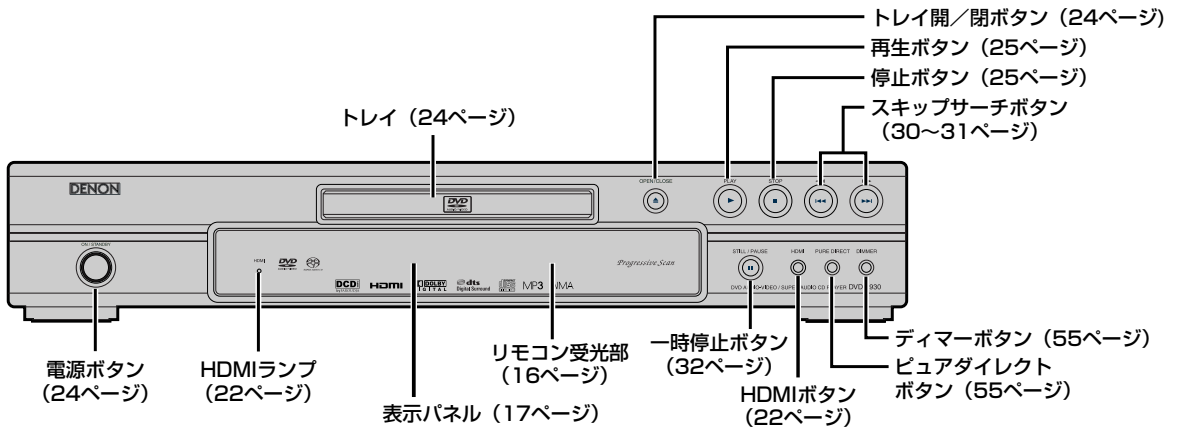
ダイアログスピード [➡ 52ページ]
- 通常再生の音質で早聞き、遅聞きができます。
- ダイアログスピードはドルビーデジタルフォーマットにのみ対応しています。

画質調整（ピクチャーコントロール） [➡ 52ページ]
- 画面の明るさ（ブライトネス）、コントラスト、色合い、ガンマ補正、シャープネスを設定できます。

スチルモード [➡ 64ページ]
- 一時停止中での画質を設定することができます。

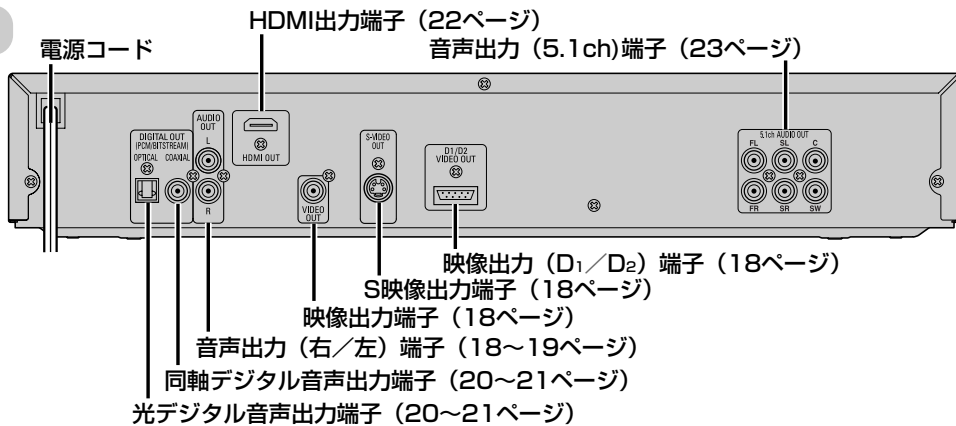
■ 各部の名称と機能説明

（ ）内の番号は、本文で説明しているおもなページです。操作ボタンの機能については、表をご覧ください。

前　面

● 本体前部

	各部の名称	機能説明
英字	HDMIボタン	HDMI出力モードの切り換えをする
	HDMIランプ	HDMI端子から出力時に点灯する
あ	一時停止ボタン	再生の一時停止/コマ送りをする
さ	再生ボタン	ディスクの再生
	スキップサーチボタン	チャプター(トラック)の頭出し、早送り/早戻し再生をする
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	ディマーボタン	表示パネルの明るさを変更する
	電源ボタン	電源を「入」「切」する
	トレイ	ディスクをセット
	トレイ開/閉ボタン	トレイの開/閉
は	表示パネル	動作状態などを表示する
	ピュアダイレクトボタン	ピュアダイレクトモードの切り換えをする
ら	リモコン受光部	リモコンからの信号を受信する

お使いになる前に

後　面

● 本体後部

	各部の名称	機能説明
英字	HDMI出力端子	HDMI端子付きテレビ、アンプとの接続
	S映像出力端子	S端子付きテレビとの接続
あ	映像出力（D1/D2）端子	D端子付きテレビとの接続
	映像出力端子	テレビとの接続
	音声出力（右/左）端子	アナログオーディオ出力端子
	音声出力（5.1ch）端子	5.1チャンネルサラウンドシステムとの接続
た	電源プラグ	AC100Vのコンセントに差し込む
	同軸デジタル音声出力端子	同軸デジタル端子付きアンプとの接続
は	光デジタル音声出力端子	光デジタル端子付きアンプとの接続

リモコン

リモコン発光部

電源切ボタン
電源入ボタン（24ページ）
A-Bリピートボタン（35ページ）
リピートボタン（34ページ）
ランダムボタン（38ページ）
ズームボタン（50ページ）
アングルボタン（49ページ）
クリアボタン（36ページ）
メニューボタン（40ページ）
字幕ボタン（48ページ）
リターンボタン（52ページ）
サーチモードボタン（42ページ）
停止ボタン（25ページ）
サーチボタン（30ページ）
一時停止ボタン（32ページ）
グループボタン（45ページ）
スーパーオーディオCD セットアップボタン（53ページ）

再生モードボタン（36ページ）
トレイ開/閉ボタン（24ページ）
数字ボタン（41ページ）
画面表示ボタン（56ページ）
トップメニューボタン（40ページ）
音声ボタン（46ページ）
カーソルボタン（36ページ）
決定ボタン（36ページ）
セットアップボタン（60ページ）
スキップボタン（31ページ）
再生ボタン（25ページ）
ページボタン（41ページ）

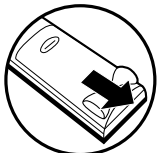
DENON
RC-1017

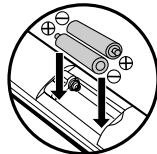
● リモコン操作ボタン

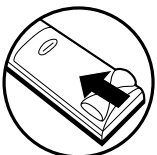
	各部の名称	機能説明
英字	A-Bリピートボタン	A点からB点を繰り返し再生
あ	アングルボタン	アングル(カメラアングル)の切り換え
	一時停止ボタン	再生の一時停止/コマ送りをする
	音声ボタン	音声(言語)の切り換え
か	カーソルボタン (4方向)	初期設定やプログラム再生、カーソルの移動や項目の切り換え
	画面表示ボタン	ディスクの情報を画面に表示する
	グループボタン	再生するグループを選択
	クリアボタン	設定した内容を元に戻す
	決定ボタン	選択した項目を確定
さ	◀◀ ▶▶ サーチボタン	早送り/早戻し再生
	サーチモードボタン	お好みの位置の検索
	再生ボタン	ディスクの再生
	再生モードボタン	• プログラム再生画面に切り換える • 画質調整（ピクチャーコントロール） • 黒レベル設定 • バーチャルサラウンドの設定 • ダイアログスピードの設定
	字幕ボタン	字幕(言語)の切り換え
	数字ボタン	各設定、選択などに使う
	スーパーオーディオCD セットアップボタン	スーパーオーディオCDの再生エリアの設定
	ズームボタン	再生画像の一部を拡大
	スキップボタン	チャプター（トラック）の頭出し（送り）
	セットアップボタン	設定を変更するときに使う
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	電源入ボタン	電源を「入」にする
	電源切ボタン	電源を「切」にする
	トップメニューボタン	DVDディスクの最上層のメニュー画面を表示する
	トレイ開/閉ボタン	トレイの出し入れ
は	ページボタン	DVDオーディオのブラウザブル静止画でのページの切り換え
ま	メニューボタン	• DVDのディスクメニュー画面を表示する • MP3/JPEG/WMAのファイルリスト表示
ら	ランダムボタン	ランダム再生画面に切り換える
	リターンボタン	１つ前の設定画面に戻る
	リピートボタン	タイトル/チャプター、トラックの繰り返し再生

お使いになる前に

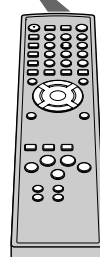
■ リモコン乾電池の入れかた

1

リモコン裏側の
フタをはずす

2

乾電池を入れる
●(+)(−)を確かめる
●(−)側を先に入れる

3

フタを付ける

■ リモコンの操作方法について

リモコン受光部に向けて
操作してください。
受信許容範囲
距離
本体正面より7m以内
角度
本体正面より
左右30度以内：5m以内
上15度以内　：5m以内
下30度以内　：3m以内

「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と外枠（被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

あどばいす

- リモコンは単3乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数によりますが、乾電池は約1年ごとに新しいものと交換してください。

破損や液もれの恐れがありますので

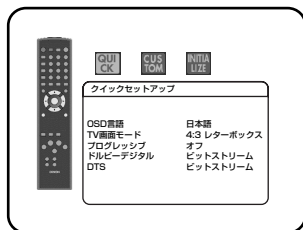
- 乾電池をショートさせたり、分解や過熱、または火に投入したりしないでください。
- 異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。
- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。
（※付属の乾電池は動作確認用です。）
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 直射日光の当たる場所に置かないでください。誤動作する場合があります。
- 万一、乾電池の液もれがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンのボタン名表示パネルには透明保護シートが貼ってあります。一部がはがれたり、気泡が入っていても不良ではありません。文字が見にくい場合は透明保護シートをはがしてお使いください。
- リモコンは、本機付属の（RC-1017）を使用してください。
- 蛍光灯などの近くに設置すると、リモコンの操作が受けづらくなることがあります。
このようなときは、本機を蛍光灯などから離した場所に設置してください。

■ 本製品の機能操作について

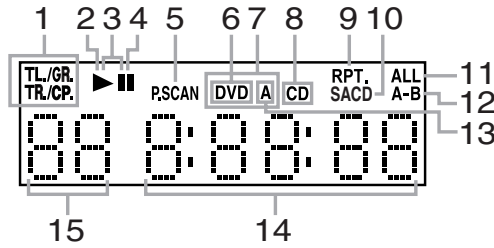
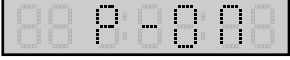
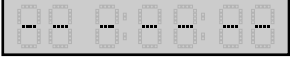
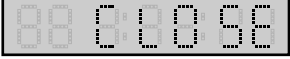
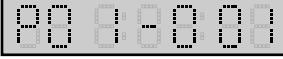
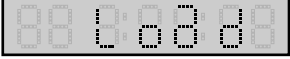
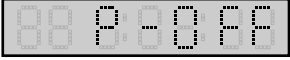
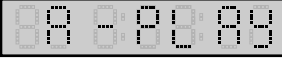
本機はセットアップ画面(図1)等にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※以下（24ページ以降）の説明において、リモコン主体とした説明となります。

図1 セットアップ画面(テレビ画面)

図2 リモコン 操作ボタン

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・メニュー画面を呼び出す	メニュー	MENU
・セットアップ画面を呼び出す	セットアップ	SETUP
・選択項目の移動	カーソル	◀ ▶ ▼ ▲
・選択項目の確定	決定	ENTER
・項目の戻り	リターン	RETURN
・プログラム画面切り換え	再生モード	MODE

■ 表示パネルについて

本体前面

1. **TL./GR.：タイトル/グループ表示**
   TR./CP.：トラック/チャプター表示
   リジューム機能中[➡ 31ページ]に DISPLAY を押すと切り換わります。
2. **再生表示**
   入っているディスクが再生されているときに点灯します。
3. **スロー再生表示**
   入っているディスクがスロー再生されているときに点灯します。(DVD、ビデオCD)
4. **一時停止表示**
   入っているディスクが一時停止状態のときに点灯します。
5. **プログレッシブスキャン表示**
   プログレッシブスキャンが[オン]のときに点灯します。
6. **DVD表示**
   DVDがトレイに入っているときに点灯します。
7. **DVDA表示**
   DVDオーディオがトレイに入っているときに点灯します。
8. **CD表示**
   CD、ビデオCDがトレイに入っているときに点灯します。
9. **リピート表示**
   リピート機能が選択されているときに点灯します。
10. **SACD表示**
    スーパーオーディオCDがトレイに入っているときに点灯します。
11. **オールリピート表示**
    オールリピート機能が選択されているときに点灯します。
12. **A-Bリピート表示**
    A-Bリピート機能が選択されているときに点灯します。
13. **A表示**
    プログラム設定画面[➡ 37ページ]でオーディオファイル（CD/MP3/WMA）を選択したときに点灯します。
14. **再生時間表示**
    現在再生されているディスクの経過時間を表示します。
15. **タイトル/グループ/トラック/チャプター表示**
    タイトルかチャプター、グループ、トラックを切り換えると、新しいタイトル/チャプター/グループ/トラック番号が表示されます。

本機の表示パネルは時刻の表示はできません

詳しい再生情報の確認はテレビ画面で行ってください。
詳しくは56ページをご覧ください。

表示パネルの表示例

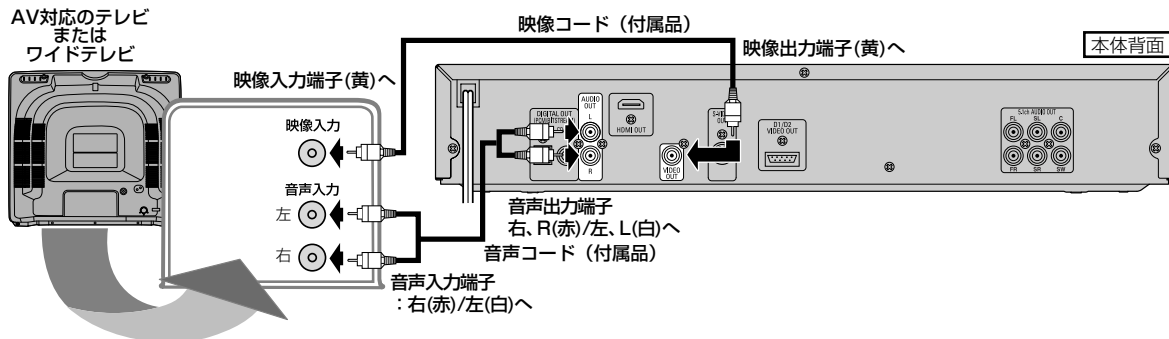
動作時のディスプレイ表示について

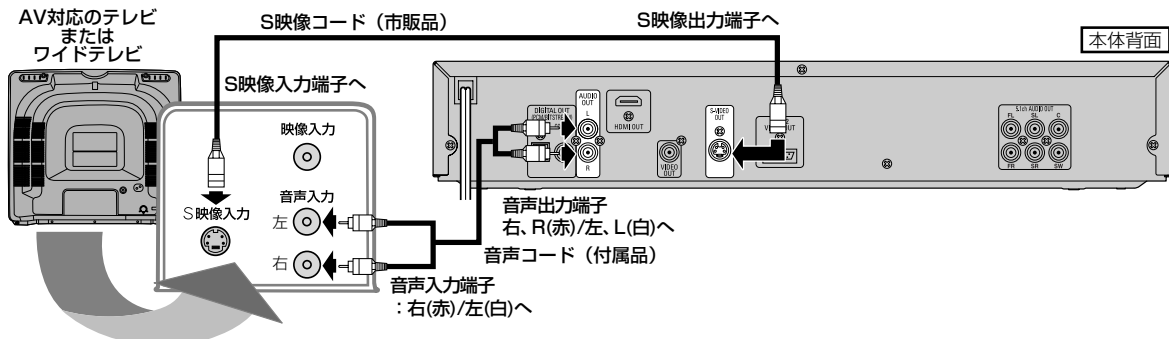
表示	説明
P-On	電源を入れたとき
-- -- -- --	ディスクが入っていないとき、または再生できないディスクが入っているとき
OPEn	トレイを開けたとき
CLOSE	トレイを閉めたとき
LoAd	ディスク読み込み中
P-OFF	電源を切ったとき
480P	HDMI出力モードで480Pが設定されているとき
720P	HDMI出力モードで720Pが設定されているとき
1080i	HDMI出力モードで1080iが設定されているとき
1080P	HDMI出力モードで1080Pが設定されているとき
OFF	HDMI出力モードでOFFが設定されているとき
P01-001	プログラム設定をしているとき
F-001	プログラム設定中にフォルダを選択したとき
A-CLEAr	プログラム設置中にオールクリアーを選択したとき
SHUFFLE	ランダム設定をしているとき
A-PLAY	オールグループ再生設定をしているとき

接続について

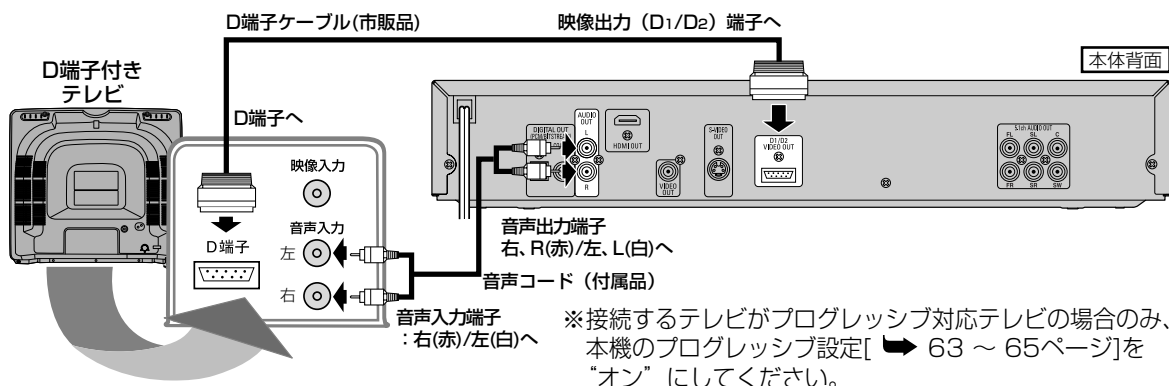
■ テレビとの接続

● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- テレビとの接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

外部入力端子付テレビをお使いの場合

S映像入力端子付テレビをお使いの場合

- 黄色の映像コードで接続する代わりに市販のS映像コードを使用して接続します。
  さらに鮮明な映像を楽しむことができます。

D端子付テレビをお使いの場合

- 黄色の映像コードで接続する代わりに市販のD端子ケーブルを使用して接続します。
  高品質な映像を楽しむことができます。

※接続するテレビがプログレッシブ対応テレビの場合のみ、本機のプログレッシブ設定[➥ 63 ～ 65ページ]を“オン”にしてください。

あどばいす

- テレビのコンポーネント（色差）入力端子がY,CB/PB,CR/PRのピンジャックタイプのときは、市販品のコンポーネントビデオケーブル（D-ピンプラグ×3）をご使用ください。

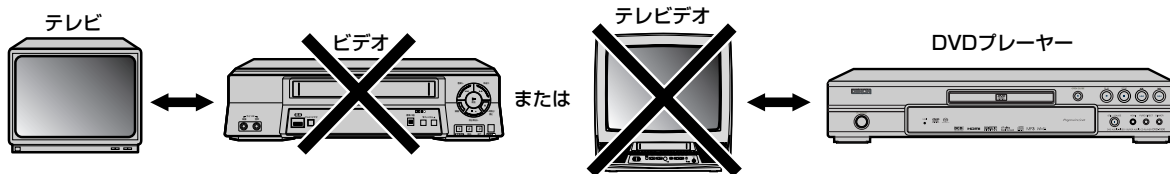
D端子とは？
D端子を備えたテレビやモニターに接続することで、さらに高品質の画像を楽しむことができます。
D_1/D_2映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、D端子ケーブル(市販品)を使って、D映像入力端子につなぎます。ケーブル1本で簡単に接続ができ、より高画質な映像を楽しめます。
D端子の名称はテレビメーカーごとに異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

プログレッシブスキャンの設定(工場出荷時は“オフ”)
接続するテレビに合わせて設定してください。
プログレッシブスキャン方式(525p/480p)対応テレビを本機のD端子を使って接続し、映像設定でプログレッシブの設定を“オン”にしてください。切り換えのしかたは[➡ 63〜65ページ]をご覧ください。また、このときはテレビをプログレッシブモードに設定してください。
通常のテレビ(プログレッシブスキャン方式対応でないテレビ)をお使いの場合や、プログレッシブスキャン方式対応テレビを本機のD端子を使わずに接続している場合は、プログレッシブの設定を“オフ”にしてください。

プログレッシブスキャン方式とは？
プログレッシブスキャン方式では従来方式のインターレーススキャン方式に対して、よりちらつきの少ない高密度の画像をお楽しみいただけます。

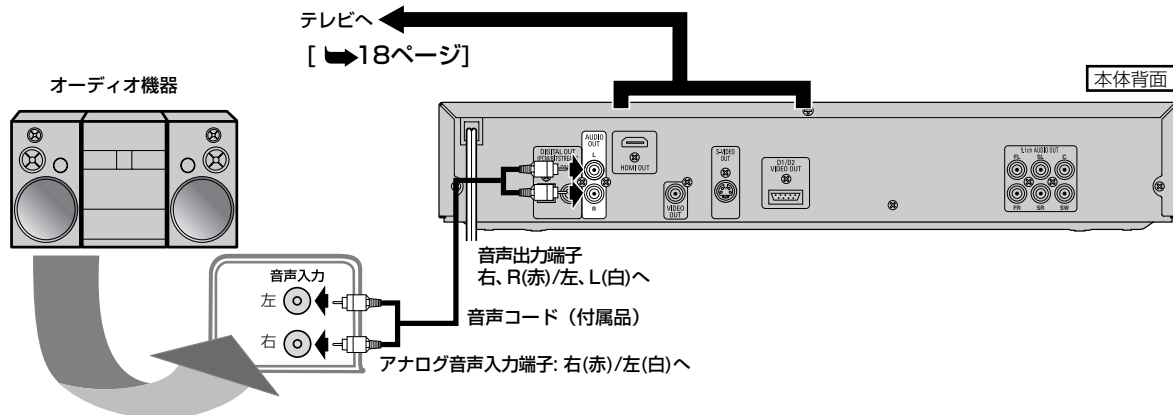
このDVDプレーヤーに採用のDCDi (Directional Correlational De-interlacing) 方式は、動きのあるビデオ素材の映像でもギザギザの目立たない滑らかな輪郭を再現します。
"DCDi"は、Faroudja, a division of Genesis Microchip Inc.の登録商標です。

あどばいす

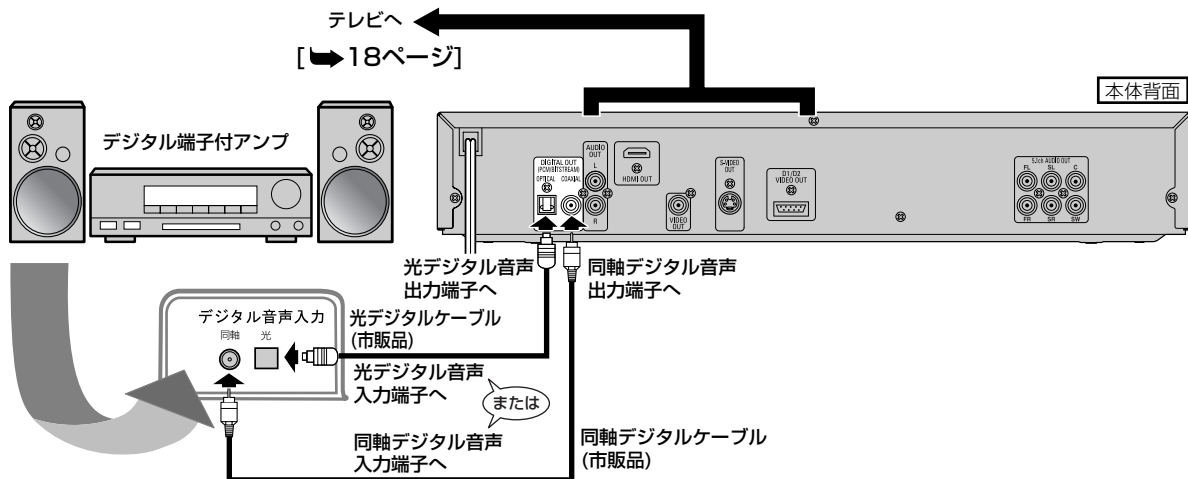
- ワイドテレビ(16:9)に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。[➡ 63 〜 65ページ]
- 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビを間に挟んでテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。

- 本機はハイビジョン対応のコンポーネント（Y、P_B、P_R）映像入力端子には対応しておりませんので、接続しないでください。（映像は映りません。）

■ アナログオーディオ機器との接続

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

■ デジタル入力端子付アンプとの接続

● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

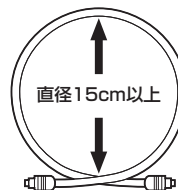
デジタル入力端子付アンプとの接続には、光デジタルケーブル（市販品）または同軸デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

あどばいす

- 正しくない設定でDVDソフトを再生すると、スピーカーが壊れることがあります。[66 ～ 69ページ]
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
- コピープロテクトのあるディスクは、デジタル音声出力されません。
- スーパーオーディオCDでは、デジタル音声を出力することができません。

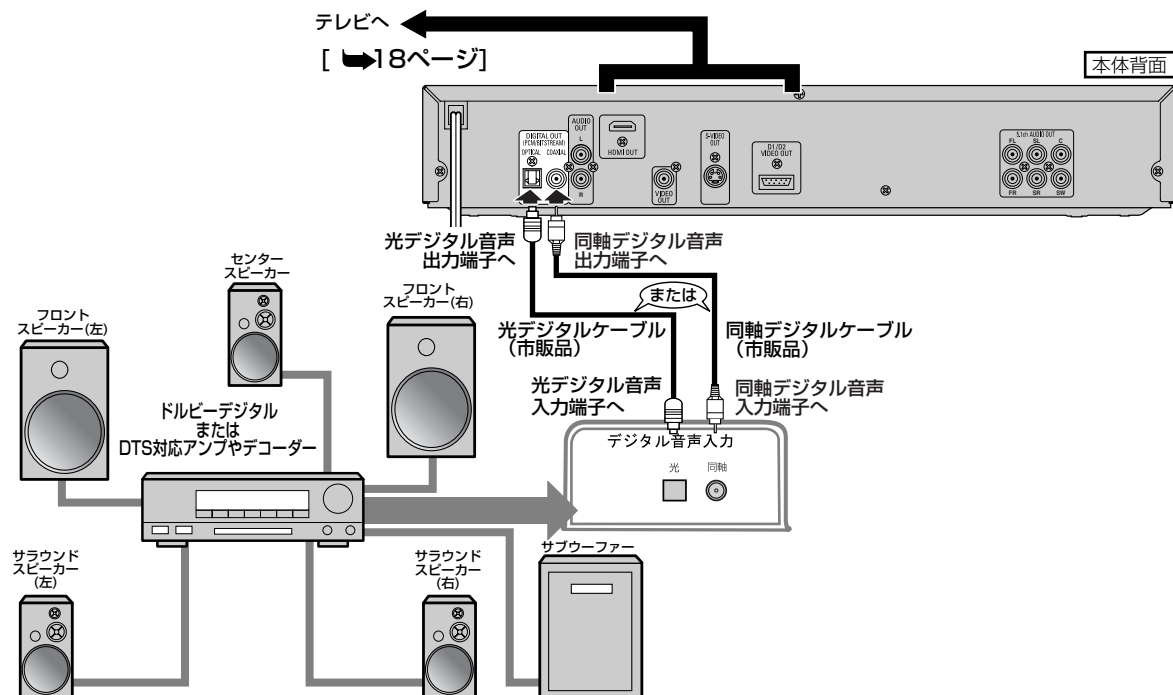
光デジタル音声出力端子について

光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、また他の外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

光デジタルケーブルについて

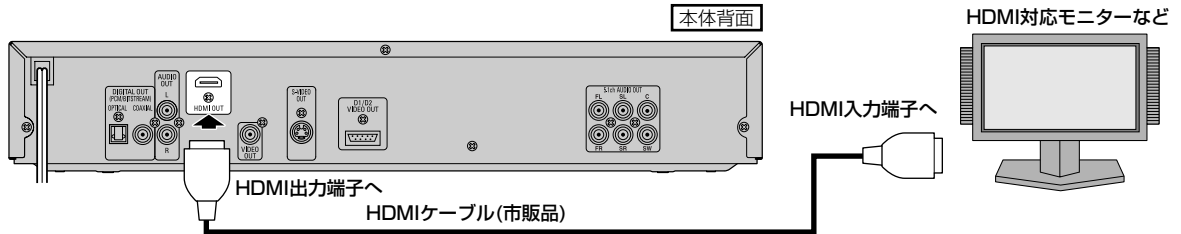
光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
長さは3m以下のものを使用してください。
プラグにほこりがある場合には、柔らかい布でふいてから接続してください。

■ ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーとの接続

● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ドルビーデジタルサラウンド、またはDTSデジタルサラウンドフォーマットのDVDソフトを再生するときには、ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに本機を接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンドサウンド音声をお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、光デジタルケーブル（市販品）または同軸デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

あどばいす

- ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「初期設定」の[ドルビーデジタル]または[DTS]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 66 ～ 69ページ]
- ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、「初期設定」の[ドルビーデジタル]と、[DTS]を[PCM]にしてください。（工場出荷時はドルビーデジタル・DTSともに[ビットストリーム]）
  正しくない設定でDVDソフトを再生すると、スピーカーが壊れることがあります。[➡ 66 ～ 69ページ]
- 著作権保護処理がされたDVDソフトの96kHzリニアPCMを再生する場合、音声設定（LPCM変換）を[オフ]にしていても音声は48kHzに変換されます。
- スーパーオーディオCDでは、デジタル音声を出力することができません。

■ HDMI 端子のある機器との接続

HDMI端子のある機器と1本のケーブル（市販）で接続するだけで、DVDビデオなどのデジタル映像とDVDビデオやDVDオーディオのマルチチャンネル音声のデジタル伝送が行えます。

		HDMI音声設定			
		2チャンネル		マルチチャンネル	
		各種音声出力設定（ドルビーデジタル、DTS）		各種音声出力設定（ドルビーデジタル、DTS）	
	音声記録方式	ビットストリーム※1	PCM	ビットストリーム※2	PCM※3
DVDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	2チャンネル PCM	ドルビーデジタル	マルチ PCM
	DTS	DTS	2チャンネル PCM	DTS	マルチ PCM
	LPCM	2チャンネル PCM	2チャンネル PCM	マルチ PCM	マルチ PCM
DVDオーディオ	LPCMまたはP.PCM（CPPMあり）※5	2チャンネル PCM	2チャンネル PCM	マルチ PCM	マルチ PCM
	LPCMまたはPPCM（CPPMなし）	2チャンネル PCM	2チャンネル PCM	マルチ PCM	マルチ PCM
ビデオCD、音楽用CD、MP3、WMA		2チャンネル PCM	2チャンネル PCM	2チャンネル PCM	2チャンネル PCM
スーパーオーディオCD	マルチエリア※4	×	×	×	×
	ステレオエリア※4	×	×	×	×
	CDエリア	2チャンネル PCM	2チャンネル PCM	2チャンネル PCM	2チャンネル PCM

※1 接続されている機器がHDMI BITSTREAMに対応していない場合、2チャンネルPCMで出力します。
※2 接続されている機器がHDMI BITSTREAMに対応していない場合、マルチPCMまたは2チャンネルPCMで出力します。
※3 接続されている機器がHDMI マルチPCMに対応していない場合、2チャンネルPCMで出力します。
※4 スーパーオーディオCDのマルチ/ステレオエリアの音声は出力しません。
※5 CPPMで著作権保護されたDVDオーディオは、接続先の機器がHDMI VER.1.0の場合、音声出力されません。
また、接続先の機器がHDMI Ver1.1であっても対応していない場合があります。

HDMI接続の設定（工場出荷時は"オフ"）

フロントパネルの**HDMIボタン**を押し HDMI出力モードを設定します。ボタンを押すごとに本体表示パネルに 480P → 720P → 1080 → 1080P → OFF → 480P と、現在の表示が切り換わります。

480P(初期設定)：HDMI端子から480pの映像信号を出力する。
720P：HDMI端子から720pの映像信号を出力する。
1080：HDMI端子から1080iの映像信号を出力する。
1080P：HDMI端子から1080pの映像信号を出力する。
OFF：HDMI端子から映像信号を出力しない。

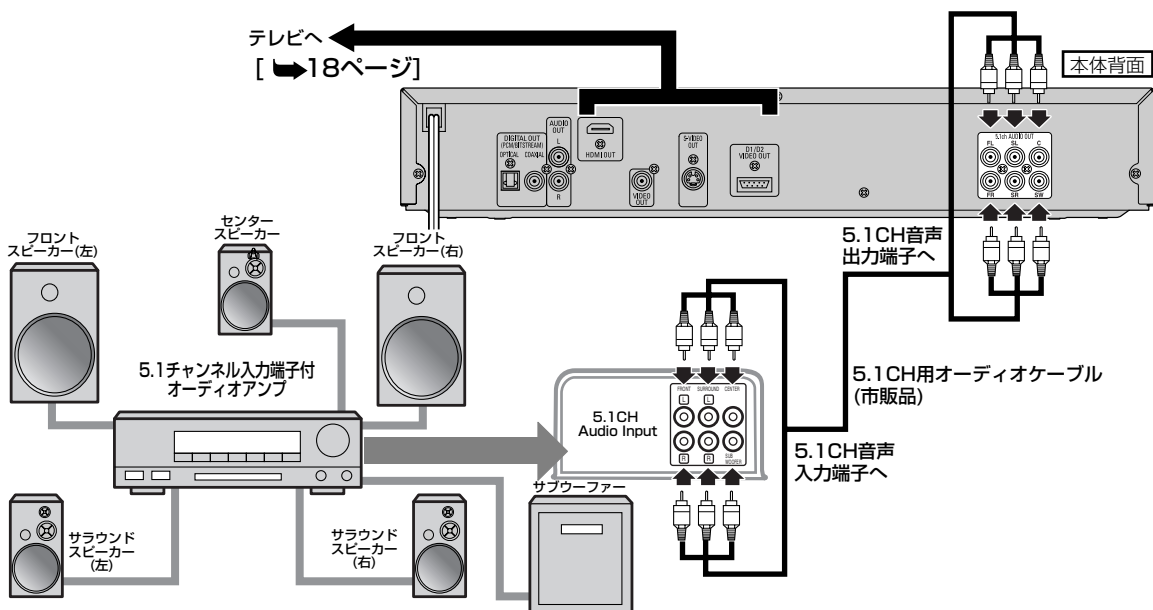
あどばいす

- HDCP (コンテンツ保護機能) に対応していないディスプレイ機器に接続する場合には、映像が正常に出力されません。
- HDMI出力モードで480P、720P、1080または1080Pが設定され、映像または音声が出力されているとき、本体前面のHDMIランプが点灯します。また、HDMI MODEがOFF以外に設定されていてもケーブルが接続されていない場合などは、HDMIランプが点滅します。
- HDMI出力モードを切り換えるとき、一時的に映像や音声がひずむことがあります。
- HDMI出力端子から映像出力をするとD端子からはプログレッシブ出力することはできません。
- HDCP（コンテンツ保護機能）に対応していないディスクプレイ機器をご使用の場合、映像が正常に出力されません。
- ピュアダイレクトをオンに設定すると、HDMI映像のみならず音声も出力されません。[➡ 55ページ]
- HDMI対応機器の中には、HDMI端子経由でほかの機器を制御できるものがありますが、本機をHDMI端子経由でほかの機器からコントロールすることはできません。
- HDMI端子からの音声信号（サンプリング周波数、チャンネル数、ビット長など）は、接続される機器により制限されることがあります。
- HDMI接続でスーパーオーディオCDを再生している場合、CDエリア以外は音声を伝送できません。アナログ接続にしてください。
- HDMI対応モニターの中には、音声出力に非対応のもの（例えばプロジェクターなど）があります。このような機器の接続では音声信号は出力されません。
- 本機のHDMI端子からHDMI-DVI変換ケーブル（市販）にて、DVI-D対応モニター（HDCP対応）と接続した場合は、デジタルRGBで出力されます。
- 切り換えた後のHDMI出力モードに受像機が対応していない場合は、その直前のHDMIモードを受像機に出力します。このときのHDMI出力モード表示において、ディスプレイ表示[➡ 17ページ]では、ユーザーが設定した出力モードを示しますが、HDMI出力情報表示[➡ 56～58ページ]では、実際の解像度が表示されます。
- 接続するテレビなどが設定変更後の解像度に対応していない場合には、対応している解像度で映像出力を続けます。

著作権保護プログラム
HDMI接続を通してDVDビデオ等のデジタル映像を再生するにはプレーヤーとモニター（またはAVアンプ）の双方がHDCP (High-band with Digital Content Protection System) と呼ばれる著作権保護システムに対応している必要があります。HDCPはデータの暗号化と接続機器の認証からなるコピープロテクション技術です。
本機はHDCPに対応しています。お手持ちのモニター（またはAVアンプ）については取扱説明書をご覧ください。

■ 5.1チャンネルサラウンドシステムとの接続

● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

アナログ5.1チャンネル音声信号を本機から出力できます。
PCMで記録されたマルチチャンネル音声信号とマルチチャンネルスーパーオーディオCDは、アナログ5.1チャンネル音声入力対応のAVアンプが接続されているときに再生できます。

あどばいす

- 5.1チャンネル接続をした場合、「音声設定」の[アナログ音声]を[マルチチャンネル]に設定し、「マルチチャンネル設定画面」で[スピーカー設定][ディレータイム][チャンネルレベル]を設定してください。
- 本体の PURE DIRECT を押すとビデオ信号出力を停止し、アナログ音声のみの高音質な音声を出力します。

DVD・CDを再生する

■ DVD、音楽用CDの再生 DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD

● 再生を始める前に…

- テレビ、アンプ、その他、本機に接続されている機器の電源をすべて入れます。（入力方式を本機に適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確認かめてください。）
- ディスク回転中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 電源プラグを抜くときは、ディスクを取り出し、電源ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

1

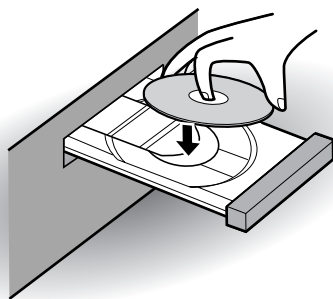
を押して電源を入れる

2

を押してディスクトレイを開ける

3

再生するディスクをトレイにのせる

- ラベル面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。

4

を押してディスクトレイを閉める

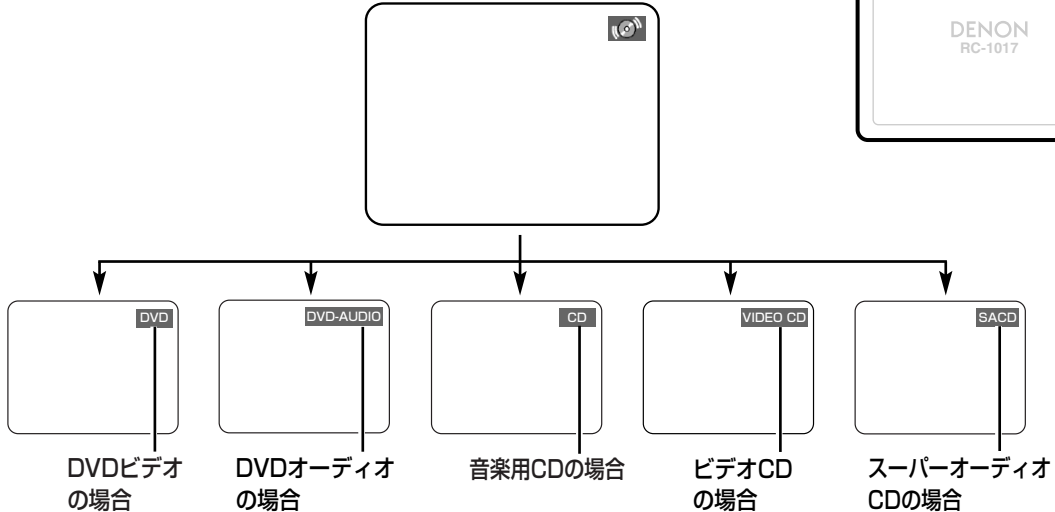
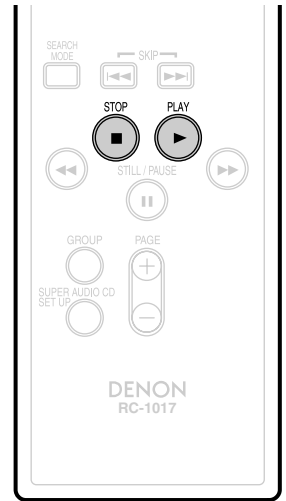
あどばいす

- 片面記録ディスクが裏表逆になっていると、ディスクを傷つける恐れがあります。必ず裏表を確認のうえ、ご使用ください。
- 電源「切」の状態でも、トレイ開閉ボタンを押すと電源が入り、トレイが開きます。
- 2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。
- MP3、WMA、JPEG形式で記録されたディスクの再生については26ページもご覧ください。

5

を押す

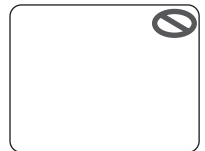
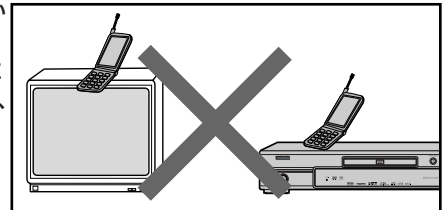
- ディスクの最初のチャプター、またはトラックから再生が始まります。
- メニュー画面が記録されているDVDソフトまたはビデオCDを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。
  40ページをご覧ください。
- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDには自動的に再生するディスクがあります。

6

再生をやめるときは
を押す

画面に下記の表示がでた場合は、80ページをご覧ください。

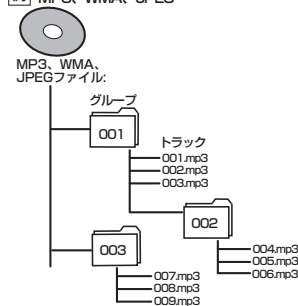
ディスクエラー	リージョンエラー	パレンタルエラー
--ディスクを取り出してください。-- 再生可能なディスクを挿入してください。	--ディスクを取り出してください。-- この地域での再生は禁止されています。	現在のパレンタル設定では再生が制限されています。

あどばいす

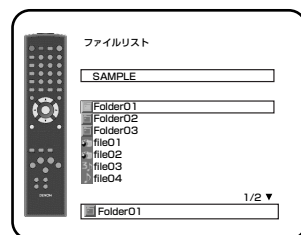
- 本機の動作中にテレビ画面の右上隅に「禁止アイコン」が表示されることがあります。これは、禁止されている操作が本機かディスクに対して行われていることを警告するためのものです。

- ディスクに汚れや傷があると、画像がゆがんで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源プラグをいったん抜き取り、プラグを差し込みなおしてから再生を再開してください。
- 再生プログラム信号が備わっているDVDソフトの場合は、2番目のタイトルから再生が始まったり、タイトルを飛ばして再生をすることがあります。
- 携帯電話をご使用になるときはテレビや本機に近づけないでください。音声に異音が入ったり、テレビにノイズがでたりする場合があります。異音が出たり、テレビにノイズがでたりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

■ MP3/WMA/JPEGディスクの再生 MP3 WMA JPEG

本機はMP3、WMA、JPEG形式で記録されたCD-RやCD-RWディスクを再生することができます。
また本機はコダックピクチャーCDに収められたJPEGファイルも表示可能です。
ピクチャーCDを再生すれば、テレビで写真画像をお楽しみいただけます。
＊ピクチャーCDとは従来のフィルムカメラによって撮影された画像をデジタルデータ化しCDに記録したものです。
ピクチャーCDについての詳細はコダックのサービス取り扱い店にお問い合わせください。

MP3、WMA、JPEGディスクについて

- 「.mp3(MP3)」という拡張子が付いたファイルを「MP3ファイル」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」という拡張子が付いたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。
- 「.wma(WMA)」という拡張子が付いたファイルを「WMAファイル」と呼びます。
- 本機ではExif規格に適合した画像ファイルも再生可能です。
  ＊Exif (Exchangeable Image File format)はファイルフォーマット形式の一つで、JEIDA (Japanese Electronic Industry Development Association)によって制定されたものです。
- 拡張子が「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」、「.jpeg(JPEG)」と「.wma(WMA)」以外のファイルはファイルリスト・プログラム設定画面には表示されません。
- 拡張子「.mp3(MP3)」、「.wma(WMA)」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」が付いたファイルでも、MP3、WMA、JPEG形式で記録されていないものを再生するとノイズがでることがあります。

1 MP3、WMAまたはJPEGトラック（ファイル）が記録されたディスクを挿入する。

- ファイルリストが自動で表示されます。
- グループ名の先頭には“▣”が表示されます。
- MP3ファイル名の先頭には“▣”が表示されます。
- WMAファイル名の先頭には“▣”が表示されます。
- JPEGファイル名の先頭には“▣”が表示されます。
- 画面内にすべて表示されない場合は、次のページを示す“▼”が表示されます。前のページがある場合には “▲”が表示されます。“▼”の左側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。

- 255グループ（フォルダ）、999トラック（ファイル）まで認識できます。（MP3、WMA、JPEGファイルを合わせて）
- グループ（フォルダ）の中にMP3、WMAまたはJPEGファイルが見つからない場合、グループは表示されません。
- コダックピクチャーCDの再生については28ページをご覧ください。

再生可能MP3ファイル	
サンプリング周波数	44.1kHz 48kHz
タイプ	MPEG1 オーディオレイヤー3
フォーマット	ISO9660 Level1/Level2 Joliet方式

再生可能WMAファイル	
サンプリング周波数	44.1kHz 48kHz
ビットレート	48～192kbps
タイプ	WMA バージョン9

再生可能JPEGファイル	
画像サイズ	最大：6300×5100ドット 最小：32×32ドット

・画面に入りきらないJPEG画像は縮小して表示します。

上記以外で記録されたファイルは、禁止マークが表示され、順次再生可能なファイルをサーチします。

2

 / で再生したいグループまたはトラックを選択し、

 または ENTER を押す

● **トラック（ファイル）を選択した場合**

選択したトラックから順に再生が始まります。

● **グループ（フォルダ）を選択した場合**

 / で、そのグループ内の再生したいトラックを選択し、

 または ENTER を押すと再生が始まります。

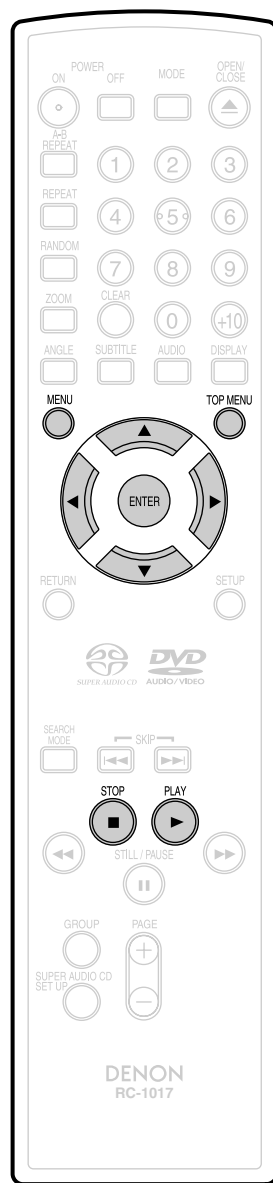
- で1番上の階層に戻ります。
- 9階層以降の階層は再生できません。
- で1つ前の階層に戻ります。

3

- **MP3またはWMAファイルが選択されている場合、選択されたトラック（ファイル）から再生が始まり、次のトラック（ファイル）に移ります。**
- **JPEGファイルが選択されている場合、選択されたトラック（ファイル）から画像再生が始まり、次のトラック（ファイル）に移ります。トラックは約5秒間表示され、次のトラックが表示されます。ディスクによっては5秒よりも長くなることがあります。**
- **画像を表示しているときは、 ANGLE を押すごとに時計回りに90度ずつ画像が回転します。**

4

再生をやめるときは を押す

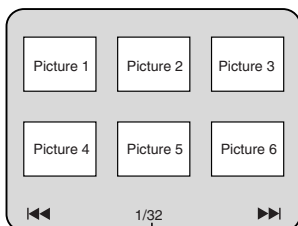
再生

あどばいす

- 著作権保護により再生が禁止されているファイルは再生できません。
- グループ、トラックの名前は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナ、スペース、アンダーバー、アスタリスクのみ表示可能で、漢字は表示できません。また、認識できない文字はアスタリスクで表示されます。さらに記録方式によっては表示できない場合があります。この場合も、アスタリスクで表示されます。
- MP3、WMAの音声は、デジタル接続したとき、デジタル機器での録音が禁止されます。
- ファイルリストの最初の画面を表示するときは、停止中にトップメニューボタンを押します。
- 記録したときの条件によっては、再生できないグループやトラックが表示されることがあります。
- 可変ビットレート記録されたMP3ファイルを再生すると、表示時間が正しくない場合があります。
- 固定ビットレート32kbps以上で記録されたMP3ファイルを推奨します。
- マルチセッションで記録したディスクも再生できます。
- 記録方式について詳しくは、CD-R/CD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウエアの取扱説明書をご覧ください。
- JPEGファイルのサイズ（推奨サイズ：640×480画素）によっては、再生に時間がかかる場合があります。
- JPEG再生中は操作ボタンが効きにくくなる場合があります。
- 画面に入り切らないJPEG画像は縮小して表示します。
- 停止中にメニューボタンを押すとファイルリストが表示されます。

■ ピクチャーCDの再生 JPEG

本機はコダック（株）が扱っているピクチャーCDを再生することができます。ピクチャーCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。
- ピクチャーCDは、従来の銀塩フィルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換してCDに書き込むサービスです。ピクチャーCDに関する詳細はコダック（株）の現像サービスを取り扱っている店頭にお問い合わせください。

1 ピクチャーCDを挿入する

- ピクチャーCDのメニューが自動で表示されます。

現トラック番号/総トラック数

- 画面内にすべてのメニュー項目が表示されない場合は、次のページを示す "▶▶|" が表示されます。前のページがある場合には "|◀◀" が表示されます。
  現在のトラック番号と総トラック数は中央下部に表示されます。
- 前ページまたは次ページを見るには、|◀◀ または ▶▶| を押します。
- すべてのメニュー項目が表示されるまで時間がかかることがあります。

2 画像を選択する

- カーソル ▲/▼/◀/▶ を押して再生したい画像を選択し、PLAY または ENTER を押します。
- 選択された画像から再生が始まります。画像は「初期設定」の[スライドショー]で設定された時間（5秒または10秒）で表示され、次の画像に移ります。
- 画像を表示しているときは、ANGLE を押すごとに時計回りに90度ずつ画像が回転します。

3 再生をやめるときは STOP を押す

あどばいす

- 再生中にメニューボタンを押すと禁止マークが表示されます。
- 「初期設定」の[スライドショー]表示時間設定が、[5秒]または[10秒]であっても、JPEGサイズが大きい場合、表示時間が長くなる場合があります。

■ スライドショーモード JPEG

再生中にスライドショーモードに切り換えることができます。
スライドを見るように、画像を順番に表示します。

1 再生中に MODE を押す

- 「スライドショーモード画面」が表示されます。
- 停止中、または「ファイルリスト画面」や「ピクチャーCDメニュー画面」からスライドショーモードに切り換えることはできません。

2 を押す

- スライドショーモードが換わります。
  カット　イン/アウト：　完全な画像を一度に表示し、消去します。
  フェード　イン/アウト：画像を徐々に表示し、消去します。

3 再生をやめるときは を押す

あどばいす

- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
- 「初期設定」の[スライドショー]表示時間設定が、[5秒]または[10秒]であっても、JPEGサイズが大きい場合、表示時間が長くなる場合があります。

■ JPEGファイルの画像サイズを調整する JPEG

接続するテレビによっては表示されるJPEGファイルの端が切れる場合があります。このような場合には、画像を少し小さくし表示します。

1 再生中に「画像サイズ設定画面」が表示されるまで繰り返し を押す

- 「画像サイズ設定画面」が表示されます。
- 停止中、または「リスト画面」から「画面サイズ設定画面」を表示することはできません。

2 または で設定を切り換える

- ノーマル：100%の画面サイズで表示します。
- スモール：95%の画面サイズで表示します。

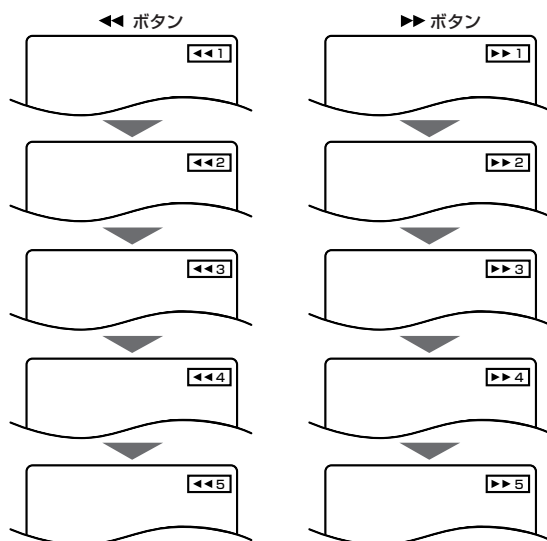
あどばいす

- スモールにしても、効果のあらわれない画像があります。
  <例>画像サイズの小さなファイルなど

■ 早送り／早戻しをする DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD MP3 WMA

1 再生中に ▶▶ または ◀◀ を押す

(DVDソフト、ビデオCDの音声はでません。)

- DVDビデオ、DVDオーディオの場合は ▶▶ または ◀◀ を押すたびに、再生速度は5段階に変わります。
- DVDの場合、ディスクによって早送り/早戻しの速度が異なる場合がありますが、目安は1（×2)、2（×8)、3（×20)、4（×50)、5（×100）です。
- 音楽用CDやスーパーオーディオCD、ビデオCD、MP3やWMAの場合、再生速度の目安は1（×2)、2（×8)、3（×30）です。
- 再生速度の倍速は通常を1としたときの目安です。実際の速度ではありません。

- 本体で操作するときは、スキップボタン（⏮または⏭）を2秒以上押します。2秒以上押すたびに再生速度が変わります。

2 PLAY ▶ を押すと通常の再生速度に戻る

再生

あどばいす

- 画面に表示される早送り/早戻しの速度表示は目安です。ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。
- タイトルまたはトラック（MP3、WMA）をまたぐ早送り/早戻しはできません。
- DVDで早送り/早戻し中に映像にブレが生じる場合は、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 63〜65ページ]

■ つづきから再生する（リジューム機能）

DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD MP3 WMA JPEG

1 再生中に を押す

- 再生が停止し、次いで画面中央に「再開メッセージ」が表示されます。

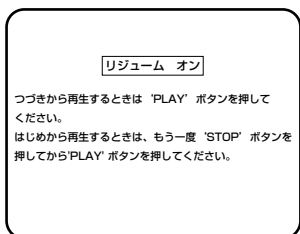
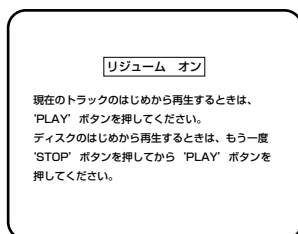
リジューム オン

つづきから再生するときは 'PLAY' ボタンを押してください。
はじめから再生するときは、もう一度 'STOP' ボタンを押してから'PLAY' ボタンを押してください。

<DVD、ビデオCD、音楽用CDの場合>

リジューム オン

現在のトラックのはじめから再生するときは、'PLAY' ボタンを押してください。
ディスクのはじめから再生するときは、もう一度 'STOP' ボタンを押してから 'PLAY' ボタンを押してください。

<MP3、WMA、JPEGの場合>

2 を押す

- 停止した位置から、続けて再生されます。

再生

あどばいす

- 電源を切ってもつづき再生の情報は消えません。
  - ・DVDの場合、自動的につづきを再生をします。
  - ・音楽用CDの場合、約10秒間「再開メッセージ」が表示され、つづきを再生をします。
- 次のような操作をした場合、つづき再生はできなくなります。
  - ・停止ボタンを2回押す
  - ・ディスクトレイを開く
- MP3、WMA、JPEGは停止したトラックの先頭からつづき再生されます。

■ チャプターやトラックを頭出しする（スキップ）

DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD MP3 WMA JPEG

1 再生中に ▶▶| か |◀◀ を押す

- DVDの場合は、同一タイトル内のチャプターの頭出しができます。
- DVDオーディオ、音楽用CD、スーパーオーディオCD、MP3、WMA、JPEG、ビデオCD の場合は、トラックの頭出しができます。

—次のチャプターまたはトラックを頭出しします。

または

—現在のチャプターまたはトラックを頭出しします。
さらに押すと前のチャプターまたはトラックに戻ります。

あどばいす

- ディスクによってはタイトルまたはトラックをまたぐスキップ操作が禁止されている場合があります。

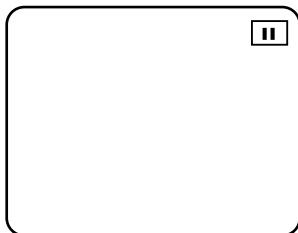
DVD・CDを再生する

■ 一時停止（静止） DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD MP3 WMA JPEG

1 再生中に を押す

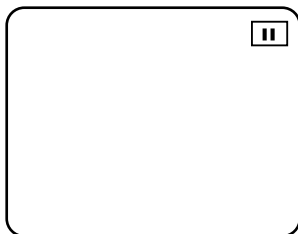
- 再生が一時停止し、音声は消音となります。
- DVD、ビデオCDは静止画再生となります。
- DVDオーディオ、音楽用CD、スーパーオーディオCD、MP3、WMA、JPEGは一時停止となります。

2 再生に戻すには を押す

再生

あどばいす

- DVDで一時停止中の映像にブレが生じる場合は、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 63～65ページ]

■ コマ送り再生 DVD-V DVD-A VCD

1 再生中に を押す

2 一時停止中に を押す

- ボタンを押すたびに、音声は消音されたまま、コマ送りされます。

3 再生に戻すには を押す

あどばいす

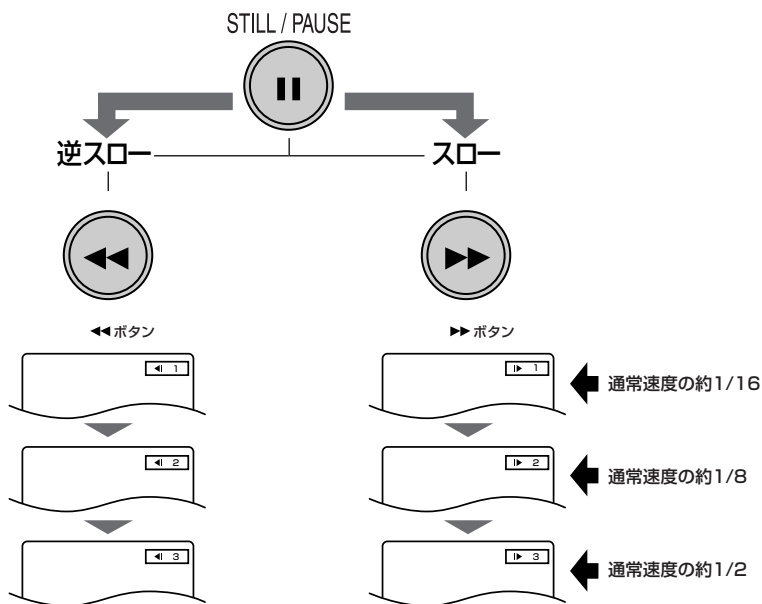
- DVDオーディオは、動画の部分のみコマ送り再生ができます。
- コマ送り再生中に映像にブレが生じる場合は、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 63～65ページ]
- 本機はコマ戻しできません。

■ スロー再生 DVD-V DVD-A VCD

1 再生中に STILL / PAUSE を押す

2 再生を一時停止している間に ▶▶ または ◀◀ を押す

（音声は消音のままです。）

- スローモーションモードで再生が行われます。
- ▶▶ または ◀◀ を押すたびに3段階に再生速度が変わります。ディスクによって再生速度が異なる場合がありますが、目安は1（1/16)、2（1/8)、3（1/2）です。

- 本体で操作するときは、スキップボタン（⏮ または ⏭）を2秒以上押します。2秒以上押すたびに再生速度が変わります。

3 を押すと通常の再生速度に戻る

あどばいす

- DVDオーディオは動画の部分のみスロー再生ができます。
- スロー再生中に映像にブレが生じる場合は、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。
[➡ 63～65ページ]
- ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。
- ビデオCDは逆スロー再生できません。
- 音楽用CDのスロー再生はできません。

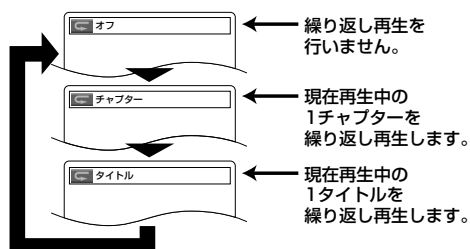
■ 繰り返し再生（リピート再生）

DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD MP3 WMA JPEG
(PBC機能を除く)

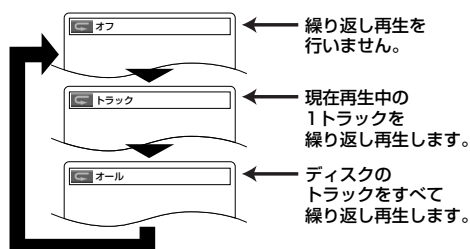
1 再生中に REPEAT を押す

DVDビデオの場合

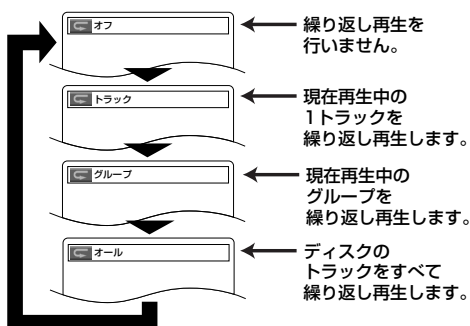
● 1つのタイトルまたはチャプターを、繰り返し再生します。

● REPEAT を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

音楽用CD、スーパーオーディオCD、ビデオCDの場合

● ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。

● REPEAT を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

DVDオーディオ、MP3、WMA、JPEGの場合

● グループ（フォルダ）または1つのトラック（ファイル）、ディスク全体が繰り返し再生されます。

● REPEAT を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

プログラム/ランダム再生中に REPEAT を押し、“オール”にするとプログラム/ランダム再生が繰り返し実行されます。（DVDオーディオ、スーパーオーディオCD、音楽用CD：36、38ページ／MP3、WMA、JPEG：37、38ページ）

あどばいす

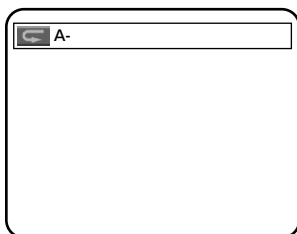
- ディスクによっては、繰り返し再生ができないものがあります。
- リピート設定をした後、ほかのタイトル、チャプター、グループ（フォルダ）、トラック（ファイル）をサーチすると、この設定は消去されます。
- リピート設定をしても、タイトル、チャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るディスクがあります。
- A-Bリピート設定中は、リピート設定できません。

■ 繰り返し再生（A-Bリピート再生） DVD-V DVD-A CD

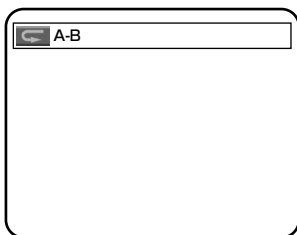
(PBC機能を除く)

選択したセクションを繰り返し再生するように、設定することができます。

1 再生中に繰り返し再生の開始点にしたい個所で を押す

- 開始ポイント（A）が選択されます。

2 リピート再生の最終点にしたい個所で、

再度 A-B REPEAT を押す

- 最終点ポイント（B）が選択されます。
- 選択された区間が繰り返し再生されます。

3 A-Bリピート再生を終わらせるには、 A-B REPEAT を押してリピート再生をオフに切り換える

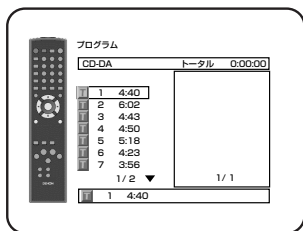
あどばいす

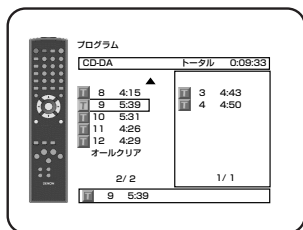
- DVDビデオの場合、A-Bリピートは、同じタイトル内にのみ設定することができます。
- 音楽用CD、スーパーオーディオCD、ビデオCDの場合、A-Bリピートは、同じトラック内にのみ設定することができます。
- DVDの場面によっては、A-Bリピート機能を利用できない場合もあります。
- 設定された開始ポイント（A）をキャンセルするには、 を押すと、[オフ]と表示されます。

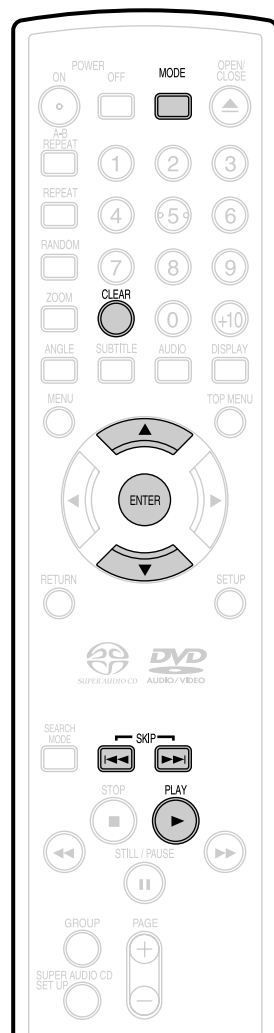
- MP3、WMA、JPEGのA-Bリピートはできません。
- リピート設定中は、A-Bリピート設定できません。
- 開始ポイント（A）のみ設定したままタイトル/トラックの終端まで再生された場合は、自動的に終端に最終点ポイント（B）が設定されます。

DVD・CDを再生する

■ プログラム再生 DVD-A CD SUPER AUDIO CD

1 停止中に「プログラム設定画面」が表示されるまで繰り返し を押す

2 を押して、希望するトラックを選択し、 を押す

- **選択したトラックの合計時間が画面上側に表示されます。**
- **最後に入力したトラックを取り消すには、 を押します。**

3 を押す

- **プログラムされている順序で再生が開始します。**

プログラム再生中、停止ボタンは次のように作動します。

- **停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。**
  再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。
- **停止ボタンを2回押した場合、プログラム再生はキャンセルされます（プログラムの設定は保持されます）。**
  再生再開時：トラック1から通常再生を始めます。保持されているプログラム設定を再生するには、MODE を押しプログラム設定画面を表示してから、 を押します。

あどばいす

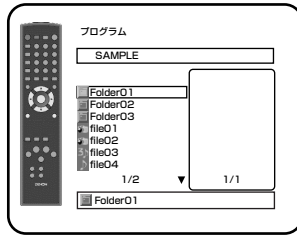
- プログラム再生中は追加のプログラムは実行できません。このような操作を行う前に現在の再生を停止してください。
- プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。
- プログラムされたすべてのトラックを消すには、手順2でリストの一番下の“オールクリア”を選択してください。
- プログラムの設定は、電源が切れたり､トレイが開くと、消去されます。
- プログラム再生中に、プログラム設定した次のトラックを再生するときは ⏭ を押してください。
- 99曲(トラック)までプログラムできます。
- 設定したプログラム画面のページを切り換えるときは、⏮ ／ ⏭ を押してください。
- MP3、WMA、JPEGのプログラム再生方法は、[➡ 37ページ]を参照してください。

再生

■ MP3、WMA、JPEGディスクをプログラム順に再生する MP3 WMA JPEG

1

停止中に MODE を押す

- 「プログラム設定画面」が表示されます。

2

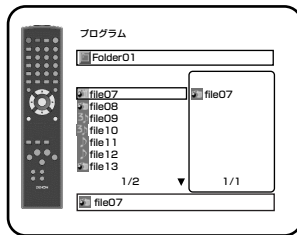
▲/▼でグループ（フォルダ）を選択し ENTER を押す

- トラック（ファイル）選択画面になります。

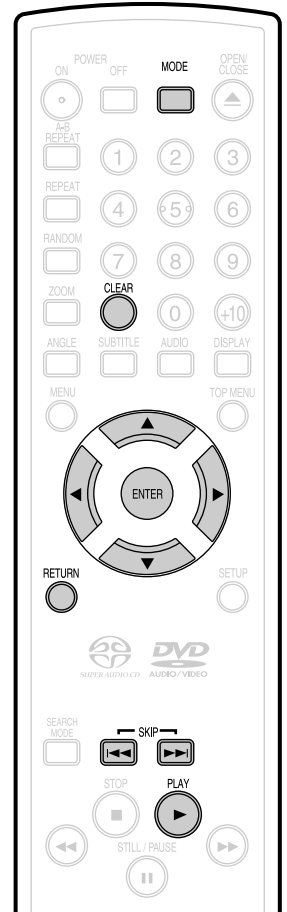
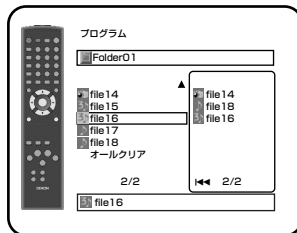
3

▲/▼でトラック（ファイル）を選択し、 ENTER を押すとプログラムに入力される

- プログラム入力されたトラック（ファイル）は右画面に表示されます。
- 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す“▼”が表示されます。
- 最後に入力したトラックを取り消すには、 CLEAR を押します。
- ◀ を押すと現在選択しているグループ（フォルダ）の1階層上のグループ（フォルダ）を一覧表示します。

- ▶ を押すと現在選択しているグループ（フォルダ）の次のグループ（フォルダ）を一覧表示します。
- RETURN を押すとプログラムの内容を記憶した状態で停止画面になります。

4

PLAY を押す

- プログラムされている順序で再生を開始します。

あどばいす

- プログラムされたすべてのトラックを消すには、手順3でリストの一番下の“オールクリア”を選択してください。
- プログラムの設定は、電源が切れたり、トレイが開くと、消去されます。
- 設定したプログラム画面のページを切り換えるときは、 ⏮ / ⏭ を押してください。
- 99トラック（ファイル）までプログラムできます。

プログラム再生中、停止ボタンは次のように作動します。

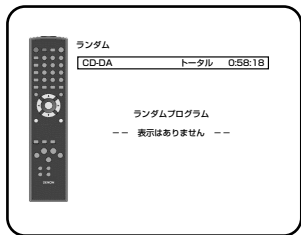
- 停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。
  再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。
- 停止ボタンを2回押した場合、プログラム再生はキャンセルされます。（プログラム設定は保持されます。）
  再生再開時：トラック1から通常再生を始めます。保持されているプログラム設定を再生するには、 MODE を押しプログラム設定画面を表示してから、 PLAY を押します。

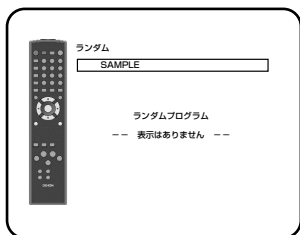
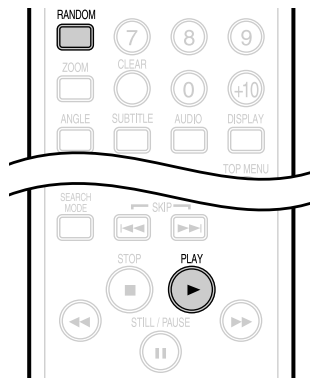
再生

DVD・CDを再生する

■ ランダム再生 CD SUPER AUDIO CD MP3 WMA JPEG

1 停止中に RANDOM を押す

- 「ランダム設定画面」が表示されます。

＜音楽用CDの場合＞

＜MP3、WMA、JPEG場合＞

2 を押す

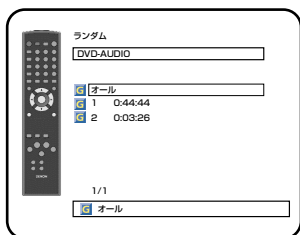
- ランダム再生を開始します。

あどばいす

- ランダム再生中は、希望のトラックからの再生およびプログラムの再生はできません。
- ランダム再生は、停止ボタンを押したり、電源が切れたり、トレイが開くと解除されます。
- MP3ファイル、WMAファイルとJPEGファイルが混在して記録されているディスクは、すべてのトラック（ファイル）のランダム再生を行います。
- ランダム再生中は、前のトラック（ファイル）に戻ることはできません。

■ ランダム再生 DVD-A

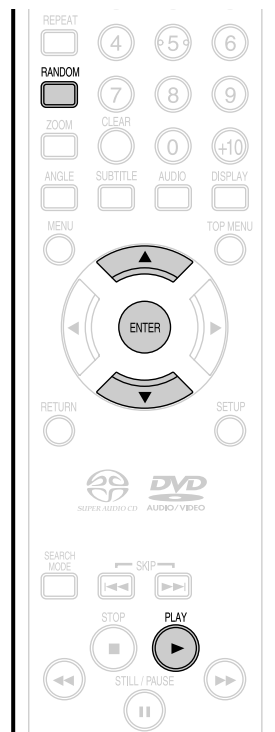
1 停止中に を押す

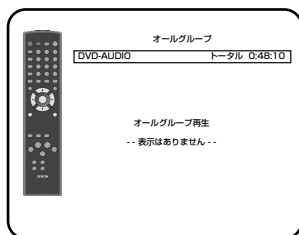
- 「ランダム設定画面」が表示されます。

2 でグループを選択し、

 / を押す

- ランダム再生を開始します。

あどばいす

- DVDオーディオのランダム再生はオール（ディスク全体）のランダムかグループ内でのランダムか選択できます。

■ オールグループ再生 DVD-A

1 停止中に を押す

2 を押す

- オールグループ再生を開始します。

再生

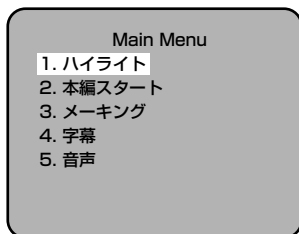
希望するところから再生する(サーチ)

■ ディスクメニューを使う DVD-V

ディスクの内容を表示し、ディスクメニューから再生することができます。

● 表示される内容はDVDによって異なります。ここでは一般的な操作の例を示しています。

(例)

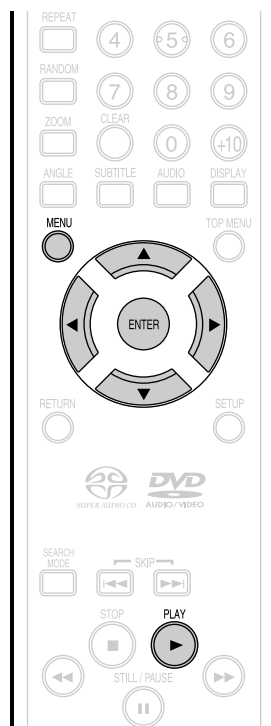
Main Menu
1. ハイライト
2. 本編スタート
3. メーキング
4. 字幕
5. 音声

1 MENU を押す

• ディスクメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

• カーソル ▲ / ▼ / ◀ / ▶ を押してタイトルを選択し、ENTER を押します。

• ディスクによっては、数字ボタンや PLAY が有効な場合があります。

• 選択したタイトルから再生を開始します。

あどばいす

• ディスクの取扱説明書をお読みください。

サーチ

■ タイトルメニューを使う DVD-V DVD-A

タイトルメニューが入っているDVDソフトの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

1 TOP MENU を押す

• タイトルメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

• カーソル ▲ / ▼ / ◀ / ▶ を押してタイトルを選択し、ENTER を押します。

• ディスクによっては、数字ボタンや PLAY が有効な場合があります。

• 選択したタイトルから再生を開始します。

再生中にメニュー画面を呼び出すには？

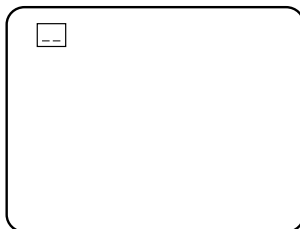
● MENU を押してディスクメニューを呼び出します。

● TOP MENU を押してタイトルメニューを呼び出します。
（ディスクによっては呼び出せないものがあります。）

■ プレイバックコントロール VCD

PBC機能のあるビデオCDの場合は、プレイバックコントロールによりPBCメニューが自動的に画面上に表示されます。
このメニューの中から希望するトラックを選択することができます。

1 +10 を押す。

- 「サーチ画面」が表示されます。

2 希望する項目の数字を入力する。

- １桁の数字を入力するには、0 を押してから希望の数字を押してください。

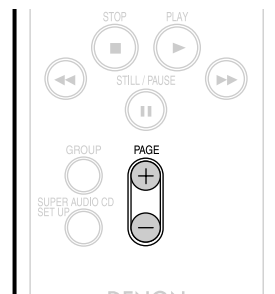
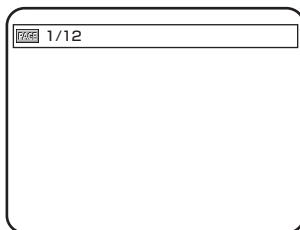
  例）トラック1：0 → 1

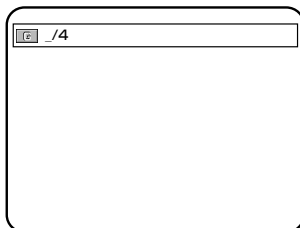
- PBCメニューに戻りたい場合は、RETURN を押してください。
- プレイバックコントロール解除と復活の方法については11ページをご覧ください。

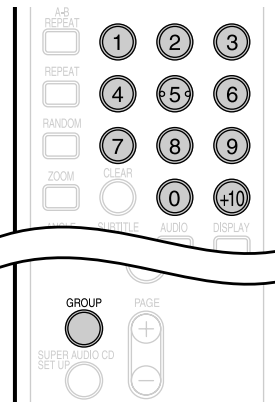
■ ページセレクション DVD-A

静止画像が含まれているDVDオーディオディスクでは、その中のお好きな画像が選択できます。

1 再生中に を押し、希望するページ番号を選択する

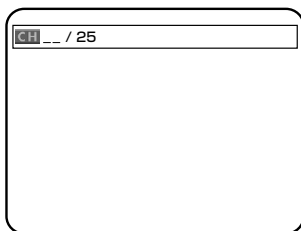
- でページ番号が切り換わります。

■ 希望するグループからの再生 DVD-A

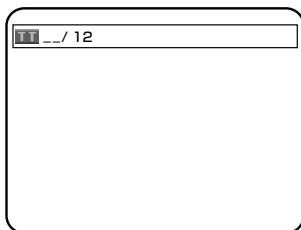
1 再生または停止中に を押す

2 数字ボタンを押して希望するグループ番号を入力する

- 選択したグループから再生を開始します。

希望するところから再生する(サーチ)

■ 希望するチャプターまたはタイトルからの再生 DVD-V

1 再生中に SEARCH MODE を押す

- 「チャプターサーチ画面」が表示されます。

2 タイトル番号を変更する場合は、もう一度 SEARCH MODE を押す

- 「タイトルサーチ画面」が表示されます。

3 数字ボタンを押して希望するチャプターまたはタイトル番号を入力する

- ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがあるとき、1桁の数字を入力するには、 0 を押してから希望の数字ボタンを押してください。

  例）チャプター1　：0 → 1

  例）チャプター12：1 → 2

- 1桁のチャプターやタイトルしかない場合は、直接数字ボタンを押してください。

  例）チャプター1：1

- 入力を間違った場合は、 CLEAR を押して入力し直してください。

スキップボタン(|◀◀ 、 ▶▶|)の使い方

再生中に ▶▶| を押すと、そのときに再生されていたチャプターを飛ばし、次のチャプターが再生されます。 |◀◀ を1回押すと、再生されていたチャプターの頭出しをして再生を始めます。 |◀◀ を続けて2回押すと一つ前のチャプターに戻ります。

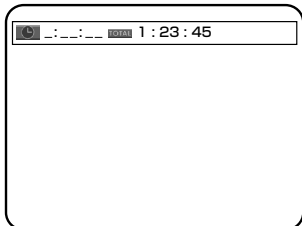
あどばいす

- DVDビデオによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。
- 再生中に希望するチャプター番号の数字ボタンを押すと、現在再生中のタイトルのチャプター番号をサーチし、再生されます。
- 停止中に希望するタイトル番号の数字ボタンを押すと、指定したタイトル番号の先頭から再生されます。
- 2桁以上のタイトル番号を入力する場合は +10 を押し、手順2の画面が表示されてから数字を入力します。

■ 希望するタイムカウントからの再生 DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD

(PBC機能を除く)

1 再生中に「タイムカウントサーチ画面」が表示されるまで繰り返し

を押す

2 数字ボタンで希望の時間を入力すると、その時間から再生されます

- 例：　1時間23分30秒

- 入力を間違った場合は、CLEAR を押して入力し直してください。

サーチ

あどばいす

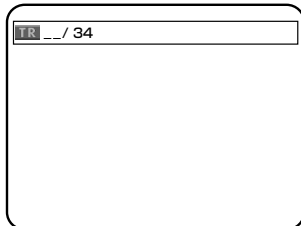
- DVDビデオの場合、チャプターのタイムサーチはできません。
- 音楽用CD、DVDオーディオ、スーパーオーディオCD、ビデオCDの場合、ディスク全体のタイムサーチはできません。
- ディスクによっては、タイムカウント(時間)からの再生ができないものがあります。
- ディスクのトータルを超えた数値を入れたとき、タイムサーチは働きません。
- MP3やWMAやJPEGのタイムサーチはできません。
- タイトルやトラックの総時間に応じて、入力する必要のない個所にはあらかじめ0が表示されます。例えば、タイトルの総時間が10分未満ならば、0:0_:_ _と表示されます。

希望するところから再生する(サーチ)

■ 希望するトラックからの再生 DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD MP3 WMA JPEG

(PBC機能を除く)

1 再生中に を押す

• 「トラックサーチ画面」が表示されます。

2 数字ボタンを押すと希望するトラック（ファイル）番号から再生されます

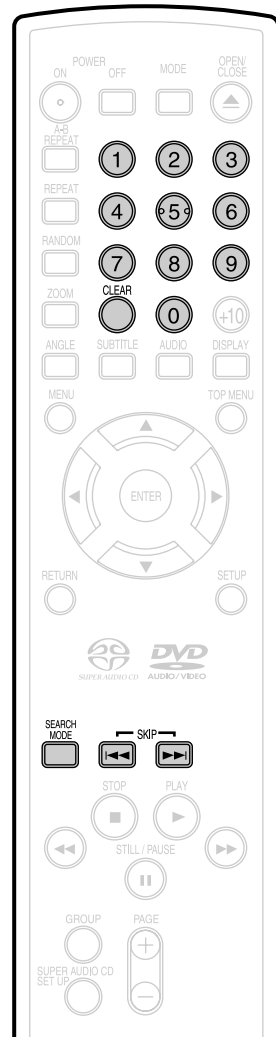
• ディスクに2桁以上のトラック（ファイル）があるとき、1桁の数字を入力するには、 を押してから希望の数字ボタンを押してください。

例）トラック（ファイル）1　:

例）トラック（ファイル）12 :

• 1桁のトラック（ファイル）しかない場合は、直接数字ボタンを押してください。

例）トラック（ファイル）1 :

• 入力を間違った場合は、 を押して入力し直してください。

スキップボタン(⏮、⏭)の使い方

再生中に ⏭ を押すと、そのときに再生されていたトラックを飛ばし、次のトラックが再生されます。⏮ を1回押すと、再生されていたトラックの頭出しをして再生を始めます。

⏮ を続けて2回押すと一つ前のトラックに戻ります。

JPEGの場合、⏮ を1回押すと、一つ前のトラックに戻ります。

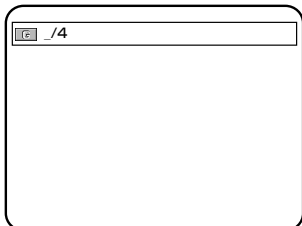
あどばいす

• 再生または停止中に数字ボタンを使って、希望するトラック（ファイル）から再生を始めることができます。2桁以上のトラック（ファイル）番号を入力する場合は、(+10) を押し、手順1の画面が表示されてから数字を入力します。

• DVDオーディオの場合、停止中はグループサーチしかできません。リジューム機能が働いているときは、トラック、グループサーチができます。

■ ボーナスグループからの再生 DVD-A

ボーナスグループが記録されているDVDオーディオディスクでは、パスワードを入力するとボーナスグループを再生できます。

1 停止中に を押す

2 数字ボタンを押して、希望するボーナスグループ番号を入力する

- 「パスワード入力画面」が表示されます。

3 数字ボタンを押して、４桁のパスワードを入力する

- 正確なパスワードを入力すると、ボーナスグループの最初から再生を開始します。

サーチ

あどばいす

- メニュースクリーンの中にパスワード画面が表れる場合がありますが、表示される指示にしたがって操作してください。
- 一度パスワードを入力すると、ディスクを取り出すまで繰り返し再生することができます。

■ 音声（言語）をかえる DVD-V DVD-A CD VCD

本機には、希望する音声(言語)およびサウンドモードが選択できる機能が備えられています。

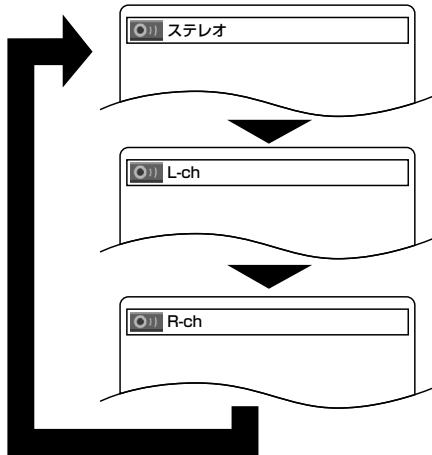
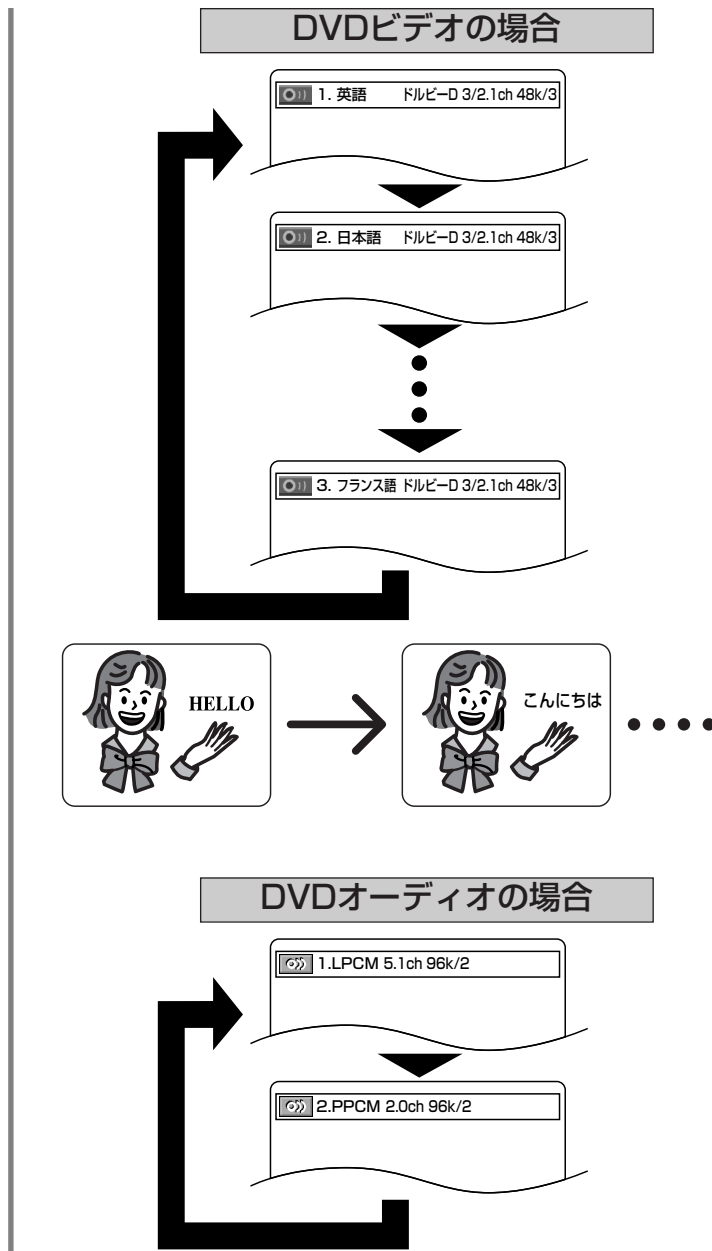
1 再生中に AUDIO を押す

2 AUDIO を繰り返し押して希望する音声(言語)を選択する

- ディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- DVDによっては、複数の言語が入っていても音声ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、メニュー画面で音声を切り換えてください。
- 音楽用CDやビデオCDの場合、ステレオ／左チャンネル／右チャンネルに切り換えることができます。

音楽用CD、ビデオCDの場合

DVDビデオの場合

DVDオーディオの場合

あどばいす

- AUDIO を繰り返し押しても希望する言語が表示されないときは、その言語の音声がDVDソフトに含まれていません。
- 電源を入れると、初期設定で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDソフトに含まれていないときは、DVDソフトに入っている言語が選ばれます。
- 音声言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- 音声言語の表示には[日本語]や[英語]のほかに、アルファベット3文字や[－－－]と表示される場合があります。
- 音楽用CDやビデオCDの場合、バーチャルサラウンド（51ページ）が働いているとき、サウンドモードを切り換えることができません。
- DTS CDはサウンドモードを切り換えることができません。
- スーパーオーディオCDは音声切換できません。（CDエリアを再生中の場合は音声切換できます。）
- DVDオーディオでマルチチャンネルの音声を選択した場合、セットアップの音声設定を2チャンネルに設定していても、マルチチャンネルで出力される場合があります。

再生中の設定（お好みに合わせて）

■ 字幕（言語）をかえる　DVD-V

本機には、希望する字幕(言語)を選択できる機能が備えられています。

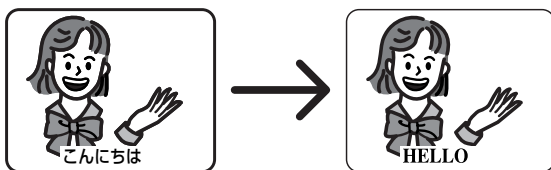
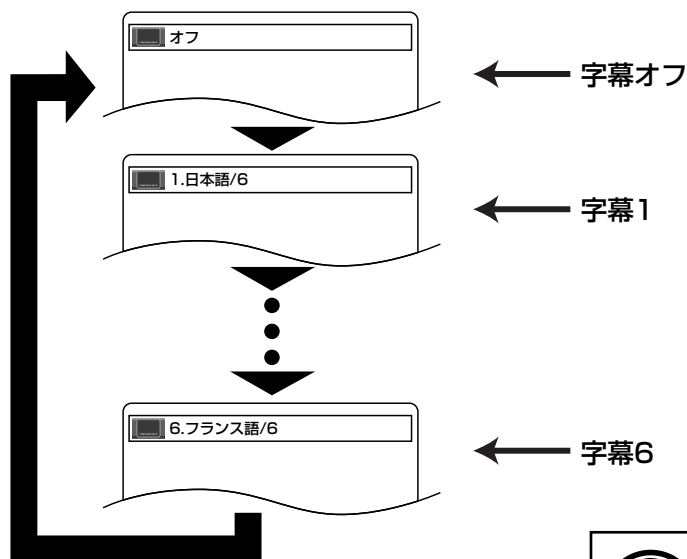
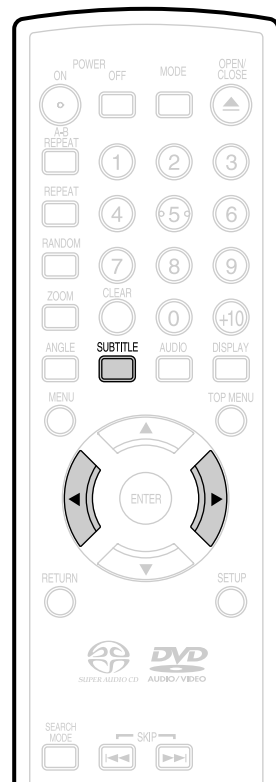
1 再生中に SUBTITLE を押す

2 SUBTITLE を繰り返し押して希望する字幕（言語）を選択する

- ディスクに複数の言語が含まれている場合に字幕(言語)を切り換えることができます。
- 字幕(言語) は、使用中のDVDに1つの言語しか含まれていない場合、切り換えることができません。
- DVDによっては、複数の言語が入っていても字幕ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、メニュー画面で字幕を切り換えてください。

字幕オフ

字幕1

字幕6

- SUBTITLE を押すと字幕(言語) が、字幕 1 、字幕2---と言語が切り換わります。

字幕(言語)オン/オフの切り換えかた

1 再生中に SUBTITLE を押す。

2 カーソルボタン ◀ / ▶ を押してオン/オフを切り換える。

あどばいす

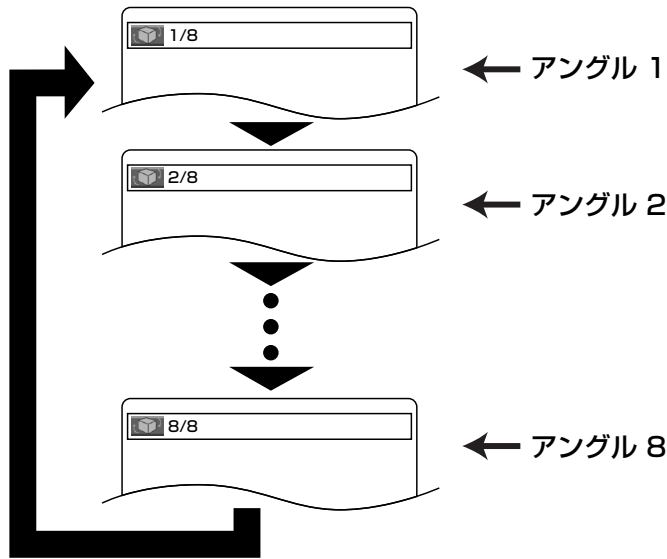
- SUBTITLE を繰り返し押しても希望する言語が表示されないときは､その言語の字幕がDVDソフトに含まれていません。
- 電源を入れると、初期設定で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDソフトに含まれていないときは、DVDソフトに入っている言語が選ばれます。
- 変更した字幕(言語)が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
- 字幕言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- [なし]の表示が画面上に表示されたときは､字幕はそのシーンに入っていません。
- 字幕言語の表示には、[日本語]や[英語]のほかに、アルファベット3文字や[−−−]と表示される場合があります。

■ アングル（カメラアングル）をかえる DVD-V

本機には希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。

1 再生中に ANGLE を押す

- 各種カメラアングルの画像が記録されたDVDでは、画面右上に（アングルアイコン）が表示されます。画面上にこのアイコンが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。
- 画面に「禁止アイコン」があらわれた場合、カメラアングルを変更することができません。

2 アングル番号が画面上に表示されている間に ANGLE を押す

お好みで

あどばいす

- アングル表示画面は約5秒後に消えます。
- アングルアイコンの設定を[オフ]にしている場合はアングルアイコンは表示されません。[➡ 76 ～ 77ページ]

再生中の設定（お好みに合わせて）

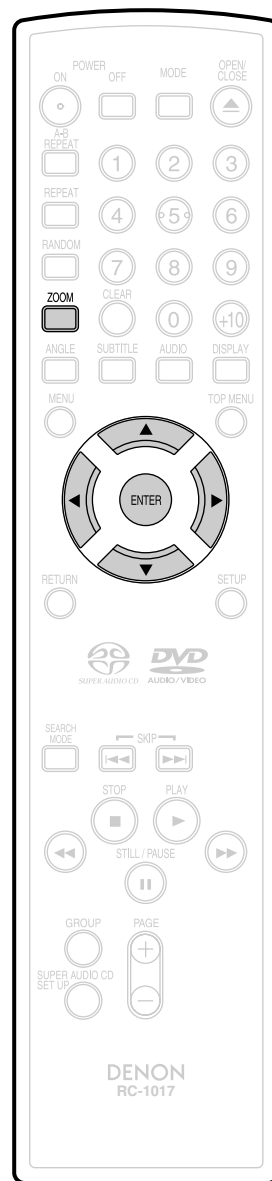
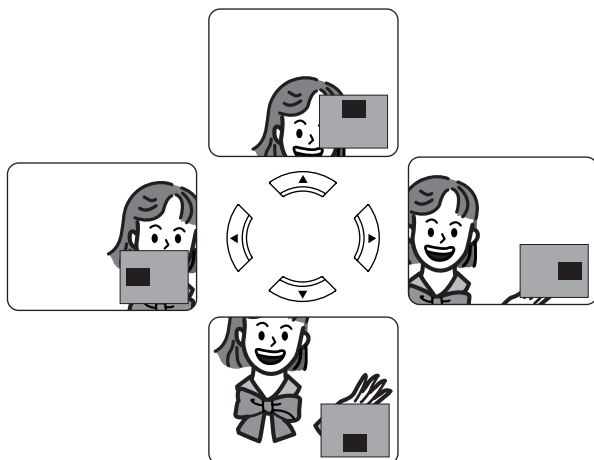
■ ズーム再生（画面上で拡大） DVD-V DVD-A VCD JPEG

お好みにより画面上で2倍または4倍の大きさに拡大できます。

1 再生中に ZOOM を押す

- 画面中央で画像が拡大されます。
- ZOOM を繰り返し押すと、2段階の切り換えができます。

2 ズーム再生中に ▲ / ▼ / ◀ / ▶ を押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から上下左右に移動させることができます。2倍ズームのときは4段階、4倍ズームのときは6段階です。ディスクによっては4倍ズームができないものもあります。また、メニュー画面でのズームはできません。
- 現在拡大されている個所は画面右下のカーソル部分です。
- 画面右下の表示は ENTER を押して表示のオン/オフを行うことができます。

あどばいす

- ビデオCDやJPEG形式で記録された画像は2倍ズームのみ機能し、ズーム位置は表示されません。
- DVDオーディオは動画部分のみズームできます。
- ディスクによっては4倍ズームができないものもあります。

■ 黒レベル設定 DVD-V DVD-A VCD

黒レベルをオンにすると、画面で暗いところを明るくします。

1 再生中に「黒レベル設定画面」が表示されるまで繰り返し MODE を押す

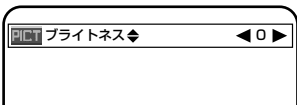
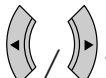
オフ

2 で[**オン/オフ**]を切り換える

■ バーチャルサラウンド設定 DVD-V DVD-A CD VCD MP3 WMA

バーチャルサラウンドを楽しむことができます。

1 再生中に「バーチャルサラウンド設定画面」が表示されるまで繰り返し MODE を押す

2 で［**1: 標準 / 2: 強 / オフ**］を切り換える

あどばいす

- ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- 音声がひずむ場合は、バーチャルサラウンド設定を［オフ］にしてください。
- 音楽用CDやビデオCDでサウンドモードを[ステレオ]以外に設定している場合は、バーチャルサラウンドを切り換えることができません。
- 黒レベル、バーチャルサラウンド設定は、ダイアログスピード中の設定変更はできません。
- 黒レベル、バーチャルサラウンドの各設定値は、電源をオフにしても記憶しています。
- スーパーオーディオCD再生時は、バーチャルサラウンドの設定はできません。（CDエリアを再生中の場合は設定できます）
- 「初期設定」の[アナログ音声]を［マルチチャンネル］に設定されている場合は、バーチャルサラウンドの設定はできません。
- バーチャルサラウンドは[HDMI音声]、[アナログ音声]を［2チャンネル］に設定されている場合に有効です。（ディスクにより禁止される場合もあります）

お好みで

再生中の設定（お好みに合わせて）

■ 画質調整（ピクチャーコントロール）DVD-V DVD-A VCD

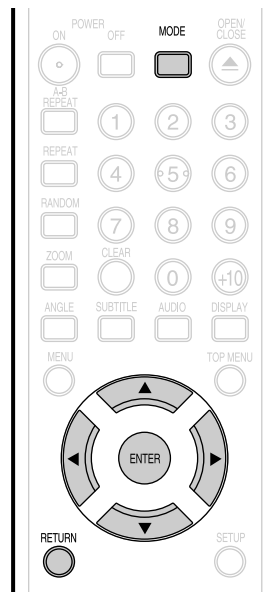
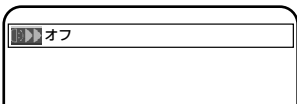
画面の明るさ（ブライトネス）、コントラスト、色合い、ガンマ補正、シャープネスを設定できます。

1 再生中に MODE を押す

PICT ブライトネス ◀ 0 ▶

2 ▲ / ▼ ボタンで項目を選ぶ

3 ENTER か ◀ / ▶ で－6～＋6の間の数値を選択する

4 RETURN を押すと通常の再生に戻る

あどばいす

- 設定画面は約10秒後に消えます。
- これらの設定はダイアログスピード中は変更できません。

■ 再生速度を微調整する（ダイアログスピード） DVD-V

※ドルビーデジタル方式で記録されたディスクのみで動作します。

1 再生中に「ダイアログスピード設定画面」が表示されるまで繰り返し MODE を押す

オフ

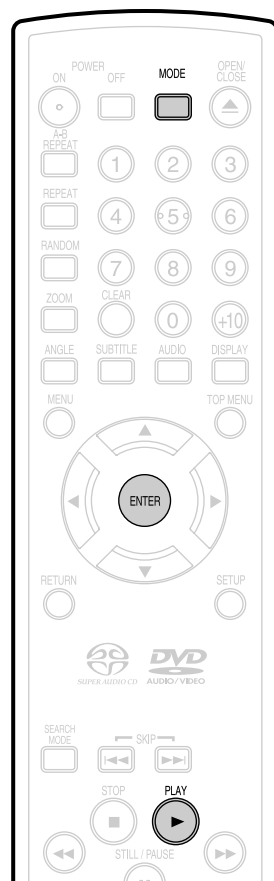
- 現在の設定状態が表示されます。

2 ENTER で設定を切り換える

- ♪ ：約0.8倍速で再生を行います。
- ♪♪：約1.3倍速で再生を行います。
- オフ：通常再生を行います。

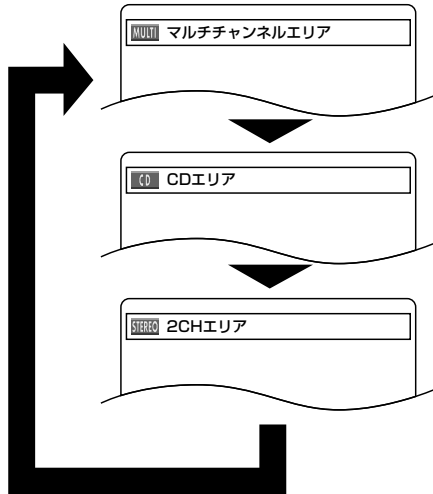
3 PLAY を押すと通常再生に戻ります

あどばいす

- 停止ボタンを押すと、この機能は解除されます。
- ダイアログスピード中は音声（言語）切り換えはできません。
- ダイアログスピード中はバーチャルサラウンド設定、黒レベル設定、ピクチャーコントロール設定はできません。
- ダイアログスピード中、バーチャルサラウンド機能は働きません。
- ディスクによっては働かない個所があります。
- デジタル音声出力（光デジタル、同軸デジタル、HDMI）端子に接続している場合、PCM音声（2チャンネル）が出力されます。
- ダイアログスピードの中の音声出力は2チャンネルとなります。

■ スーパーオーディオCD再生時の設定

スーパーオーディオCDの再生エリアを設定することができます。

1 再生または停止中に SUPER AUDIO CD SET UP を押す

2 SUPER AUDIO CD SET UP で［マルチチャンネルエリア / CDエリア / 2CHエリア］を切り換える

● **マルチチャンネルエリア**
スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、マルチチャンネルのエリアを優先的に再生します。

● **CDエリア**
スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、CDエリアを優先的に再生します。

● **2CHエリア**
スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、ステレオエリアを優先的に再生します。

あどばいす

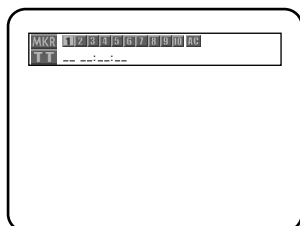
• 選択したエリアのないディスクを再生する場合、自動的に別のエリアを再生します。

再生中の設定（お好みに合わせて）

■ マーカー設定 DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD (PBC機能を除く)

マーカー機能を使って、マーカー設定した個所より再生することができます。マーカーは10個まで設定することができます。

● マーカーを設定する

1 再生中に「マーカー設定画面」が表示されるまで繰り返し SEARCH MODE を押す

2 ◀ / ▶ で設定されていない1～10までの数字を選ぶ

3 ENTER を押す
- マーカーをつけた個所の時間が表示されます。

4 SEARCH MODE または RETURN を押す
- 再生画面に戻ります。

● マーカー設定した個所から再生する

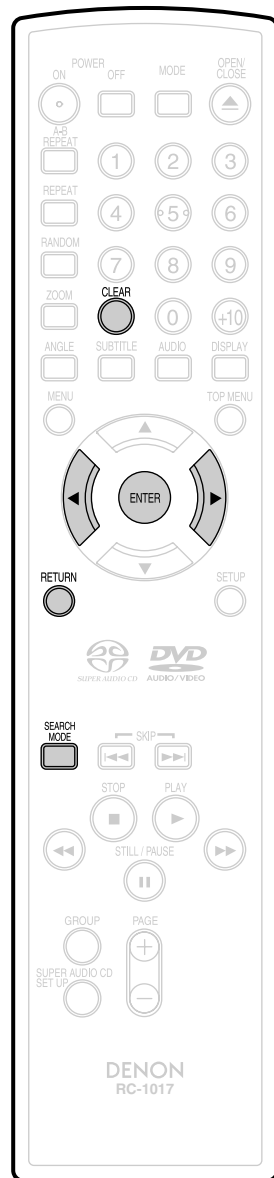
1 再生または停止中に「マーカー設定画面」が表示されるまで繰り返し SEARCH MODE を押す

2 ◀ / ▶ でマーカーをつけた数字を選び ENTER を押す
- 設定されていなければ、“＿＿ ＿＿：＿＿：＿＿”と表示されます。
- 選択された個所から再生が始まります。

● マーカー設定を削除する

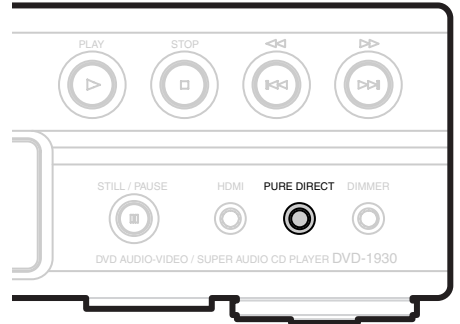
1 再生または停止中に「マーカー設定画面」が表示されるまで繰り返し SEARCH MODE を押す

2 ◀ / ▶ でマーカーをつけた数字を選び CLEAR を押す
- すべてのマーカー設定を削除するには、◀ / ▶ で「AC」を選び、ENTER を押します。

3 SEARCH MODE または RETURN を押す
- 再生または停止画面に戻ります。

あどばいす
- 設定したマーカーは電源をオフにするか、トレイを開けると削除されます。
- MP3、WMA、JPEGのマーカー設定はできません。

■ ピュアダイレクト機能 DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD MP3 WMA

HDMI出力、ビデオ信号出力と本体表示パネルの表示を止め、アナログ音声のみを出力することで、高音質な音声が楽しめます。

1 再生または停止中に本体前面の PURE DIRECT を押す

あどばいす

- セットアップ画面表示中（16ページ）はピュアダイレクト機能は利用できません。
- 以下のボタンを押すと、ピュアダイレクト機能は解除されます。
  ・セットアップボタン（リモコン）・トレイ開/閉ボタン（本体・リモコン）・画面表示ボタン（リモコン）・電源ボタン（本体・リモコン）ピュアダイレクトボタン（本体前面）
- HDMIモード出力中にピュアダイレクトを[オン]にすると、HDMI映像も音声も出力しません。

■ ディマー機能

本機の表示パネルは明るさを3段階に変えることができます。

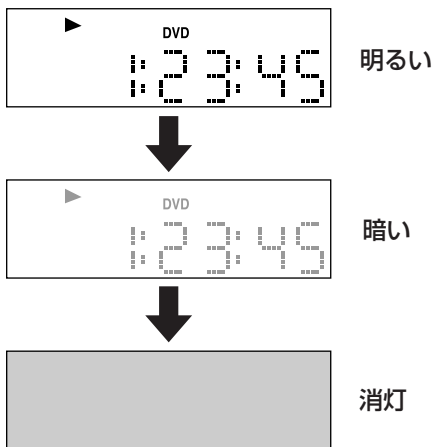
1 再生または停止中に本体前面の DIMMER を押す

DVD 1:23:45 明るい

↓

DVD 1:23:45 暗い

↓

消灯

あどばいす

- ディマー機能は「初期設定」の[表示パネル]からでも設定できます。
- 本体前面の DIMMER で設定した表示パネルの明るさは設定を記憶しません。一度電源を切り、再び電源を入れると「初期設定」の[表示パネル]で設定した明るさで表示します。

再生中の情報を見る（画面表示）

■ 画面表示の切り換え DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD MP3 WMA JPEG

リモコンの画面表示ボタンを押してディスクについての情報を確認することができます。

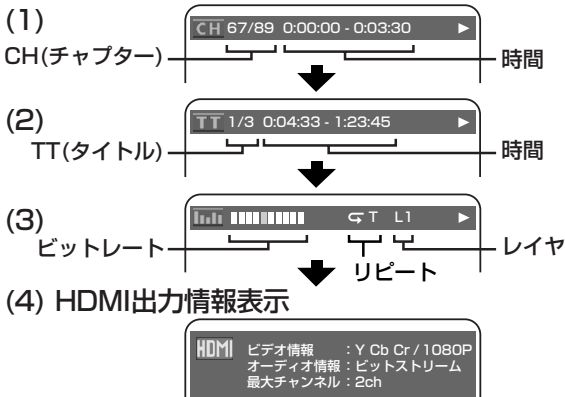
再生情報の表示

1 再生中に DISPLAY を押す

- 画面上に情報が表示されます。
- DISPLAY を繰り返し押すと、次の情報が表示されます。

DVDビデオの場合

(4) HDMI出力情報表示

HDMI ビデオ情報 : Y Cb Cr / 1080P
オーディオ情報 : ビットストリーム
最大チャンネル : 2ch

	項目	表示内容
(1)	CH	現チャプター番号/総チャプター数
	時間	チャプター経過時間/チャプター残り時間
(2)	TT	現タイトル番号/総タイトル数
	時間	タイトル経過時間/タイトル残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDビデオに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：タイトル　C：チャプター
	レイヤ	L0/L1 2層ディスクを再生している時、現在再生しているレイヤ（層）を表示します。
(4)	ビデオ情報	出力している映像の解像度を表示します。 （HDMI出力がOFFのときは“---”）
	オーディオ情報	音の出力形式を表示します。 （HDMI音声がミュート、HDMI出力がOFFのとき、接続機器が音声非対応のときは“---”）
	最大チャンネル	接続機器側の受け入れることができる最大チャンネル数を表示します。 （HDMI出力がOFF、音声非対応機器のときは“---”）

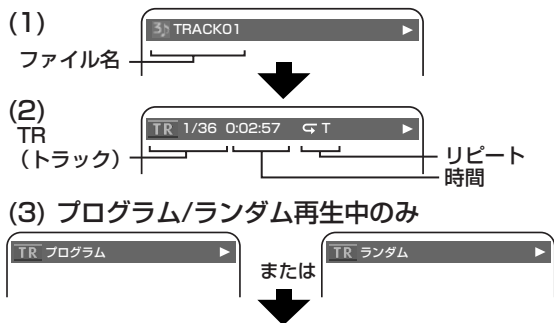
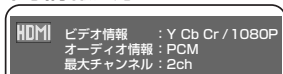
リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

画面表示

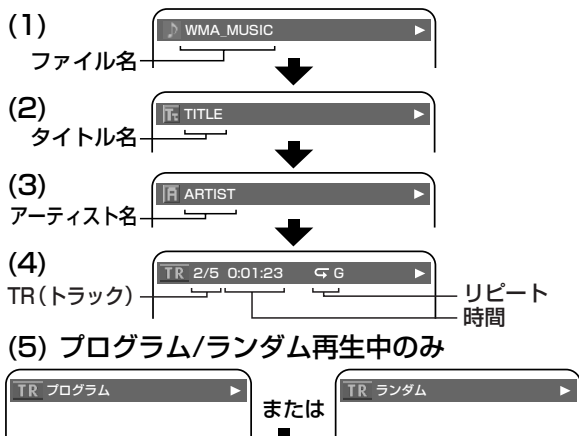
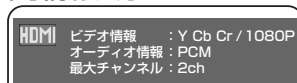
MP3、JPEGの場合

(3) プログラム/ランダム再生中のみ

(4) HDMI出力情報表示

HDMI ビデオ情報 : Y Cb Cr / 1080P
オーディオ情報 : PCM
最大チャンネル : 2ch

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック（ファイル）の名称
(2)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間（JPEGは表示されません）
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T : トラック（ファイル） G : グループ（フォルダ） A : オール
(4)	ビデオ情報	出力している映像の解像度を表示します。（HDMI出力がOFFのときは“---”）
	オーディオ情報	音の出力形式を表示します。（HDMI音声がミュート、HDMI出力がOFFのとき、接続機器が音声非対応のときは“---”）
	最大チャンネル	接続機器側の受け入れることができる最大チャンネル数を表示します。（HDMI出力がOFFのとき、音声非対応機器のときは“---”）

リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

WMAの場合

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラックの名称
(2)	タグ情報(タイトル名)	現在再生しているトラックのタイトル名
(3)	タグ情報(アーティスト名)	現在再生しているトラックのアーティスト名
(4)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T : トラック（ファイル） G : グループ（フォルダ） A : オール
(6)	ビデオ情報	出力している映像の解像度を表示します。（HDMI出力がOFFのときは“---”）
	オーディオ情報	音の出力形式を表示します。（HDMI音声がミュート、HDMI出力がOFFのとき、接続機器が音声非対応のときは“---”）
	最大チャンネル	接続機器側の受け入れることができる最大チャンネル数を表示します。（HDMI出力がOFFのとき、音声非対応機器のときは“---”）

ファイル名は25文字まで表示されます。タイトル名、アーティスト名は64文字まで表示されます。タイトル名、アーティスト名を一度に表示できない場合は、スクロール表示されます。

リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

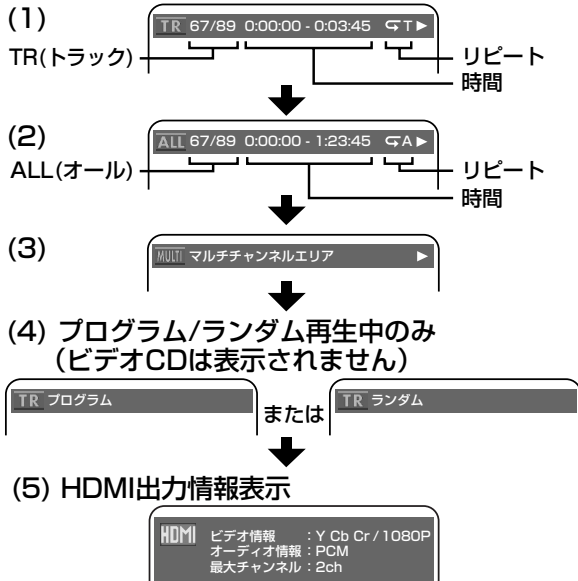
再生中の情報を見る（画面表示）

音楽用CD、ビデオCD、スーパーオーディオCDの場合

(4) プログラム/ランダム再生中のみ
（ビデオCDは表示されません）

TR プログラム　または　TR ランダム

(5) HDMI出力情報表示

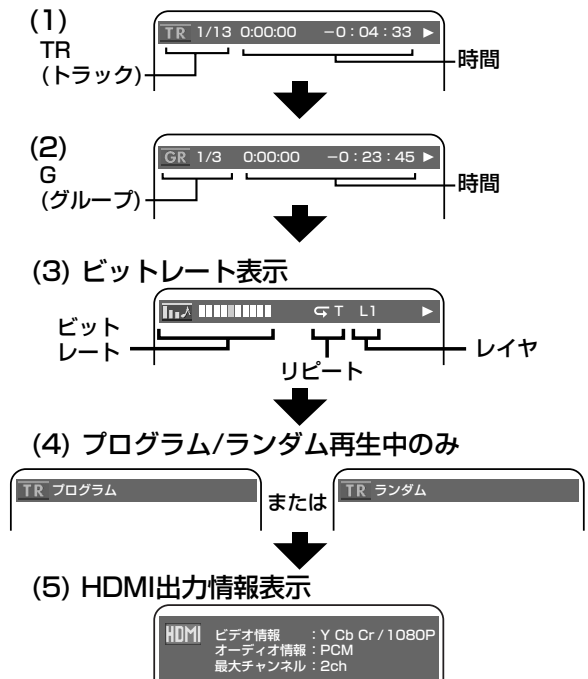
HDMI ビデオ情報 : Y Cb Cr / 1080P
オーディオ情報 : PCM
最大チャンネル : 2ch

		表示内容
(1)	項目	現トラック番号/総トラック数
	TR	トラック経過時間/トラック残り時間
	時間	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは表示されません)。
	リピート	T：トラック　A：オール
(2)		現トラック番号/総トラック数
	オール	ディスク経過時間/ディスク残り時間
	時間	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは表示されません)。
	リピート	T：トラック　A：オール
(3)	再生エリア	現在再生しているエリア
(5)	ビデオ情報	出力している映像の解像度を表示します。（HDMI出力がOFFのときは“---”）
	オーディオ情報	音の出力形式を表示します。（HDMI音声がミュート、HDMI出力がOFFのとき、接続機器が音声非対応のときは“---”）
	最大チャンネル	接続機器側の受け入れることができる最大チャンネル数を表示します。（HDMI出力がOFFのとき、音声非対応機器のときは“---”）

リターンボタンまたは画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

DVDオーディオの場合

(4) プログラム/ランダム再生中のみ

(5) HDMI出力情報表示

HDMI ビデオ情報 : Y Cb Cr / 1080P
オーディオ情報 : PCM
最大チャンネル : 2ch

	項目	表示内容
(1)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
(2)	G	現グループ番号/総グループ数
	時間	グループ経過時間/グループ残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDオーディオに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：トラック　G：グループ　A：オール
	レイヤ	L0/L1 2層ディスクを再生している時、現在再生しているレイヤ（層）を表示します。
(5)	ビデオ情報	出力している映像の解像度を表示します。（HDMI出力がOFFのときは“---”）
	オーディオ情報	音の出力形式を表示します。（HDMI音声がミュート、HDMI出力がOFFのとき、接続機器が音声非対応のときは“---”）
	最大チャンネル	接続機器側の受け入れることができる最大チャンネル数を表示します。（HDMI出力がOFFのとき、音声非対応機器のときは“---”）

リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

あどばいす

- PBC付きのビデオCDでは、画面表示ボタンを押すとPBC表示をします。PBCを解除すると（1）、（2）の表示をします。

■ 初期設定一覧（出荷時の設定）

便利にお使いいただくためにご自分で変更できる設定と、工場出荷時の設定を一覧表にしています。
・ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。
　詳しくは各ページをご参照ください。
・視聴制限設定以外の設定を初期化する方法は、78ページをご覧ください。

メニュー項目	設定項目(□は工場出荷設定)		設定内容
1. 言語設定 ➡60～62ページ	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ⋮	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
	ディスクメニュー言語	日本語 英語 ⋮	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
	OSD言語 Quick	日本語 ENGLISH	設定画面の言語やテレビ画面に表示される言語の設定
2. 映像設定 ➡63～65ページ	TV画面モード Quick	4:3レターボックス 4:3パンスキャン 16:9ワイド 4:3スクイーズ	接続するテレビのタイプに合わせて設定
	スチルモード	オート フィールド フレーム	一時停止中の画質を設定します
	プログレッシブ Quick	オフ オン	プログレッシブスキャンの設定
	PROG. MODE	オート1 オート2 ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3	プログレッシブ出力を行うときの出力タイプの設定
	HDMI選択	YCbCr RGB	HDMIから出力する映像信号の種類を設定
	HDMI黒レベル	ノーマル エンハンスド	HDMI出力するときの映像、白黒のコントラストを設定
3. 音声設定 ➡66～73ページ	DRC	オン オフ	音量範囲をコントロールするか設定
	LPCM変換	オフ オン	96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換するか設定
	ドルビーデジタル Quick	ビットストリーム PCM	デジタル音声出力端子からでる音声信号の種類を設定
	DTS Quick	ビットストリーム PCM	
	低域コントロール	オフ オン	2チャンネルで再生させたとき、サブウーハーからの音声出力を設定
	音声モード	HDMI アナログ	音声モードを設定
	HDMI音声	2チャンネル マルチチャンネル	HDMI音声の出力を2チャンネルにするかマルチチャンネルにするか設定します。マルチチャンネルにするとスピーカー設定、ディレータイム、チャンネルレベルの設定を行うことができます。
	アナログ音声	2チャンネル マルチチャンネル	アナログ音声の出力を2チャンネルにするかマルチチャンネルにするか設定します。マルチチャンネルにすると、スピーカー設定、ディレータイム、チャンネルレベルのスピーカー設定を行うことができます。
4. 視聴制限設定 ➡74～75ページ	視聴制限レベル	オール 8～1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
	パスワード変更	4桁のパスワードを入力	パスワードの設定・変更
5. その他の設定 ➡76～77ページ	アングルアイコン	オン オフ	アングルアイコン（　）の画面表示有無の設定
	オートパワーオフ	オン オフ	静止で30分間入力がない場合、電源「切」にするか設定
	表示パネル	明るい 暗い オート	本体表示パネルの照度設定
	スライドショー	5秒 10秒	JPEGの表示時間の設定
	プレーヤモード	オーディオ ビデオ	DVDオーディオにDVDビデオコンテンツが含まれているとき、DVDオーディオとして再生するか、DVDビデオとして再生するかを設定

あどばいす

- 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
- 停止状態でないと、セットアップ機能は利用できません。
- メニュー画面付きDVDソフトを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
- Quick マークのある項目は、クイックセットアップモード内で設定することができます。その他の項目は、カスタムセットアップモード（60～77ページ）内で設定を変更してください。

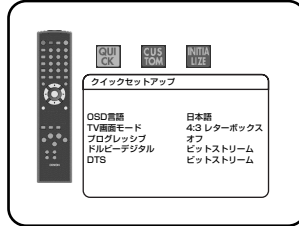
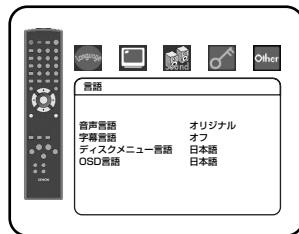
設定

設定をかえる（セットアップ）

■ 言語設定　再生中の場合、 を押します。

1 SETUP を押す

• 「セットアップ画面」が表示されます。（クイックモードが表示されます。）

2 を押して “” を選択し、ENTER を押す

• カスタムモード（言語設定画面）が表示されます。

3 を押して “” を選択し、 を押す

• 「言語設定画面」が表示されます。

4

 / を押して選択したい項目を選び、 を押す

- RETURNを押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

● **音声言語**（初期設定：オリジナル）
再生ディスクの言語(音声)を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナル言語(音声)となります。

 を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

● **字幕言語**（初期設定：オフ）
再生ディスクの言語(字幕)を選択します。
＊オフ：字幕なしとなります。

 を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

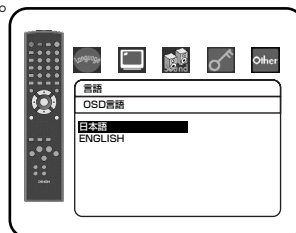
● **ディスクメニュー言語**（初期設定：日本語）
ディスクメニューの表示言語を選択します。

 を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

音声・字幕・ディスクメニュー言語に入っていない言語を選ぶ場合

 を押して[その他]を選択し、「言語コード設定画面」を表示させ ENTER を押します。62ページのリストを参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

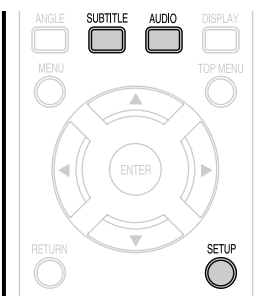
● **OSD言語**（初期設定：日本語） Quick
本機の設定画面や画面表示の言語を選択します。

 を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

→次ページへつづく

5 SETUP を押す

• 設定を完了し、「セットアップ画面」が消えます。

あどばいす

• 一部のディスクでは音声と字幕の言語設定が利用できませんので、AUDIOとSUBTITLEを使います。
詳しい説明は46 ～ 48ページにあります。

■ 言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語(DAN)	5047
ドイツ語※	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語(GRE)	5158
英語※	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語(FIN)	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語※	5264
フリジア語	5271
アイルランド語(IRI)	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語(HUN)	5467
アルメニア語	5471

言語名	言語コード
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語(ICE)	5565
イタリア語※	5566
ヘブライ語	5569
日本語※	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語※	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※	6058
ノルウェー語(NOR)	6061
プロバンス語	6149
アファン語(オロモ語)	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語(POR)	6266

言語名	言語コード
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語(RUM)	6461
ロシア語※	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語(SWE)	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語(TUR)	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※	7254
ズール語	7267

音声ボタンを押したとき、※は画面上にそのまま表示されます。また、( )で示されている言語は( )通り、それ以外の言語は“－－－”で表示されます。

■ 映像設定

再生中の場合、STOP を押します。

1

SETUP を押す

- 「セットアップ画面」が表示されます。（クイックモードが表示されます。）

2

 を押して “” を選択し、 を押す

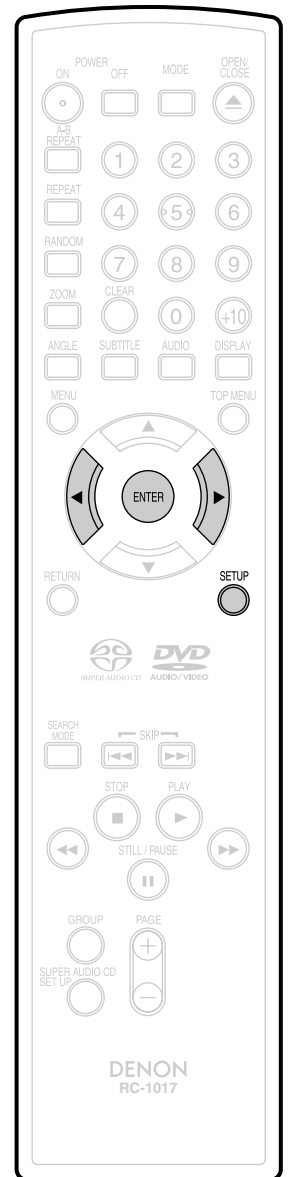
- カスタムモード（言語設定画面）が表示されます。

3

 を押して “” を選択し、 を押す

- 「映像設定画面」が表示されます。

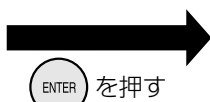
設定

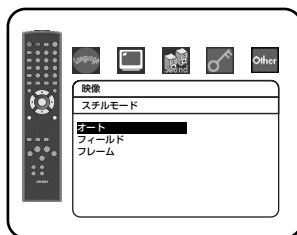
→次ページへつづく

設定をかえる（セットアップ）

4 / を押して選択したい項目を選び、 を押す

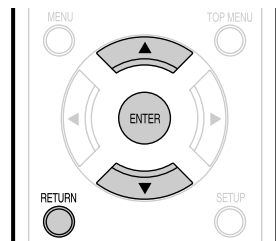
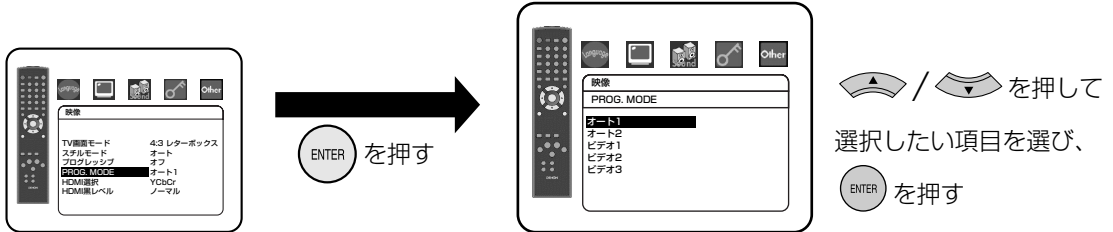
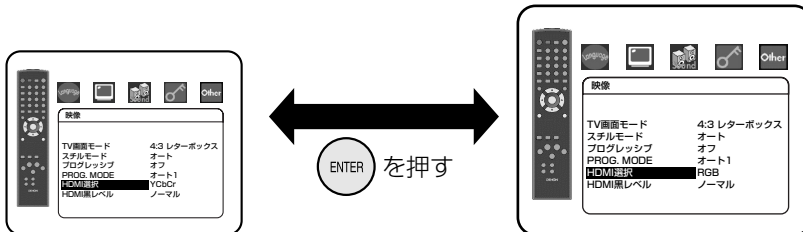
- RETURN を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

● **TV画面モード**（初期設定：4:3 レターボックス） Quick
　＊4:3 レターボックス：上下に黒い帯つきの画面
　＊4:3 パンスキャン：左右をカットした画面
　＊16:9ワイド　　　：ワイド画面テレビに接続されている場合、
　　　　　　　　　　　自動的に横長の画面になります。
　＊4:3 スクイーズ　：4:3の映像を再生したとき、16:9のテレビの中央部に4:3
　　　　　　　　　　　の映像比率で表示したいときに選択します。

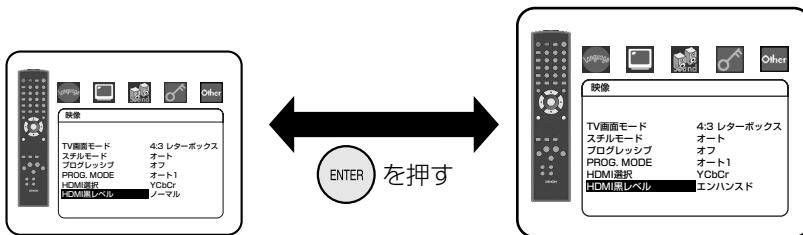
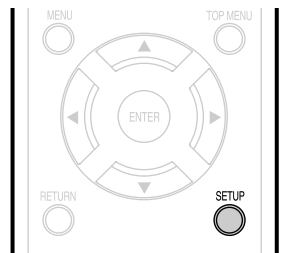
- **ディスクによっては、テレビ画面モードで設定したモードとは違う画面になることがあります。**

選択したい項目を選び、
ENTER を押す

● **スチルモード**（初期設定：オート）
一時停止時の画質を設定します。
　＊オート　：通常はこの設定を選びます。
　＊フィールド：オートに設定しても画像のブレが発生するとき設定します。“フィールド”を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。
　＊フレーム：動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいとき選びます。“フレーム”を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを同時に出力させるため、画像にブレを生じることがあります。

選択したい項目を選び、
ENTER を押す

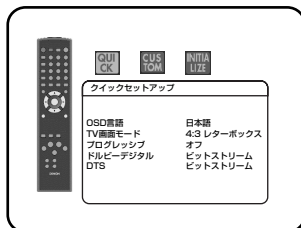
テレビの1枚の画面のことをフレームと呼び、1枚のフレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面から作られています。
[スチルモード]の[オート]を選択しているときに、静止画によっては、画像にブレを生じることがあります。

● **プログレッシブ**（初期設定：オフ） Quick
プログレッシブスキャンの設定を選びます。
プログレッシブスキャンの説明は19ページをご覧ください。

● PROG. MODE（初期設定：オート1）
プログレッシブスキャンの方式を選びます。
プログレッシブスキャンの説明は19ページをご覧ください。
＊オート1 ：DVDに記録されている映像がフィルム素材
＊オート2 ：DVDに記録されている映像が30フレームのフィルム素材
＊ビデオ1 ：通常のビデオ素材
＊ビデオ2 ：動きの少ないビデオ素材
＊ビデオ3 ：動きの大きいビデオ素材

選択したい項目を選び、
● HDMI選択（初期設定：YCbCr）
HDMI端子から出力する映像信号を選択します。
＊YCbCr ：Y, Cb, Crで出力します。
＊RGB ：RGBで出力します。
接続機器がY, Cb, Crに対応していない場合は、設定に関わらず自動的にRGBで出力されます。

● HDMI黒レベル（初期設定：ノーマル）
HDMI端子から出力するRGB映像レベルの設定ができます。
＊ノーマル ：通常はこの設定を選びます。
＊エンハンスド：映像の白黒が鮮明でないとき。
HDMI端子からRGB出力しているときのみ設定が有効です。

5

を押す

- **設定を完了し、「セットアップ画面」が消えます。**
- **プログレッシブスキャンの設定はこの時点で有効になります。**

■ 音声設定　再生中の場合、 を押します。

1 SETUP を押す

• 「セットアップ画面」が表示されます。（クイックモードが表示されます。）

2 を押して "CUSTOM" を選択し、 を押す

• カスタムモード（言語設定画面）が表示されます。

3 を押して を選択し、 を押す

• 「音声設定画面」が表示されます。

 / を押すと、次のページの設定画面が表示されます。

<1ページ目>　<2ページ目>

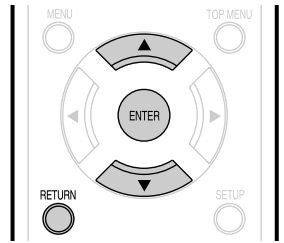
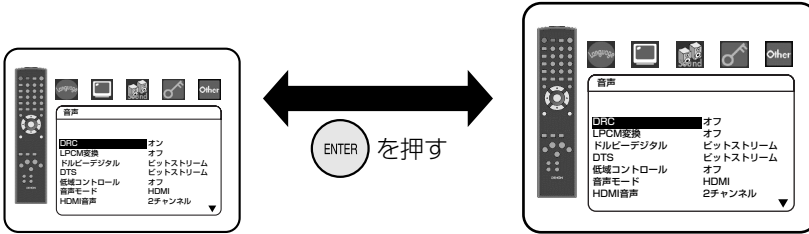
4

 / を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

- RETURN を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

● DRC（初期設定：オン）

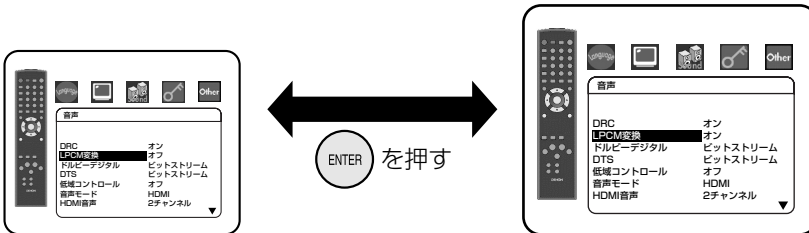
＊オン：再生時に音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整します。

- この機能は音量範囲をコントロールするものです。音量範囲を圧縮することにより夜間の出力を抑制するだけでなく音量が低い部分のレベルを上げることもできます。
- ただし、この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。

● **LPCM変換（ダウンサンプリング）**（初期設定：オフ）

96kHz（88.2kHz）以上のPCMで録音された音声信号を48kHz（44.1kHz）に変換する/しないを選択します。また、96kHz（88.2kHz）以上の高音質で楽しむためには96kHz（88.2kHz）以上に対応したアンプに接続する必要があります。

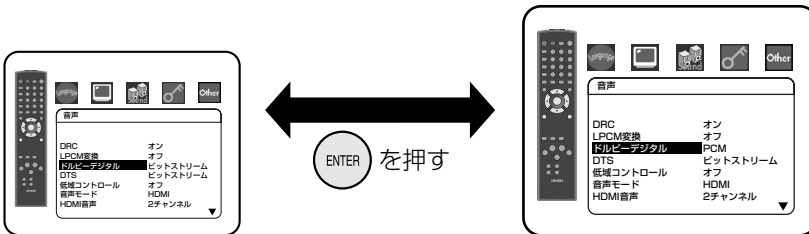
＊オフ：96kHz（88.2kHz）以上に対応したアンプまたはデコーダーとデジタルで接続したときに選びます。ただし、ディスクのコピーガード機能が働いているとき、96kHz（88.2kHz）以上で録音された音はデジタル出力で48kHz（44.1kHz）に変換して出力されます。

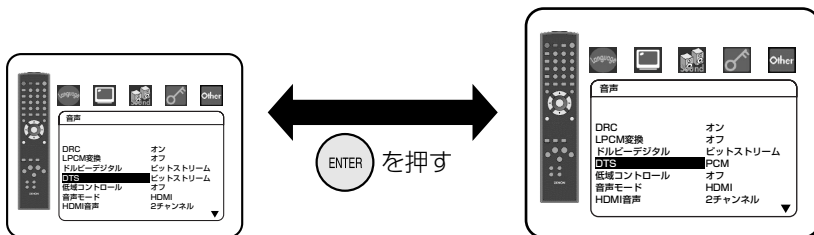
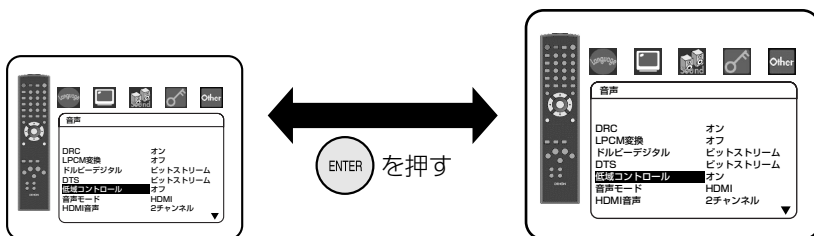
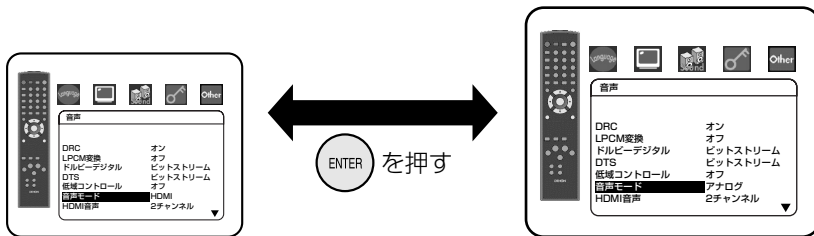
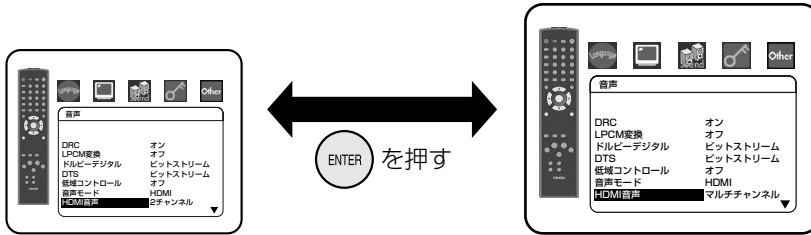
＊オン：96kHz（88.2kHz）以上で録音された音はデジタル出力で48kHz（44.1kHz）に変換して出力されます。

- **この機能はHDMI出力に対しては無効です。**

● **ドルビーデジタル**（初期設定：ビットストリーム） Quick

＊ビットストリーム ：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。

＊PCM ：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

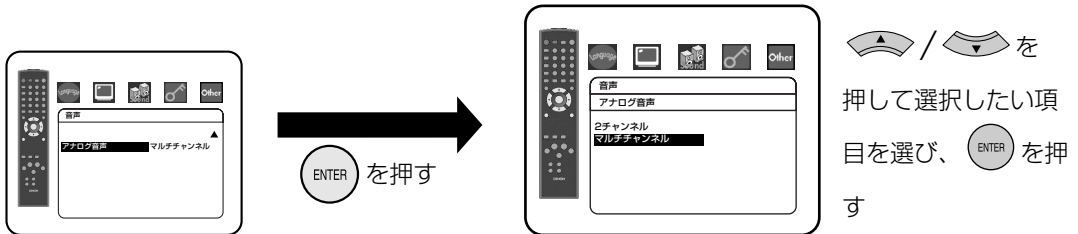
設定

→次ページへつづく

● DTS（初期設定：ビットストリーム） Quick
＊ビットストリーム ：DTSデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
＊PCM ：DTSデコーダーを搭載しないアンプと接続したときに選びます。

● **低域コントロール**（初期設定：オフ）
2チャンネルで再生したときサブウーファーから音声を出力するか選択します。
設定を変更するときは、音声モードをアナログに設定して、アナログオーディオの設定をマルチチャンネルにし、サブウーファーの設定を[オン]にしてください。

● **音声モード**（初期設定：HDMI）
音声の出力モードを選択します。
HDMI で接続している機器が音声に対応していないときは自動的にアナログ出力されます。
＊HDMI ：HDMI端子から音声出力するとき（アナログ6ch端子からの出力に制限がかかる場合があります。）
＊アナログ ：アナログ6ch端子から音声出力するとき（HDMIからの音声は出力されません。）

● **HDMI音声**（初期設定：2チャンネル）
HDMI の音声出力チャンネル数を設定します。（実際の出力については22ページの表を参照してください）
この設定を行うには音声に対応した機器に 接続をし、音声モードの設定をHDMI にしてください。マルチチャンネルを設定すると、マルチチャンネルの設定画面になります。（73ページ）
　2チャンネル：2チャンネル音声で出力します。（モニター等が2チャンネルに対応）
　マルチチャンネル：マルチチャンネル音声で出力します。（モニター等が2チャンネル以上に対応）

● **アナログ音声**（初期設定：2チャンネル）
[音声モード]を[アナログ]に設定してください。[マルチチャンネル]を設定すると[マルチチャンネル設定画面]になります。（70ページ）
＊2チャンネル　　　：2チャンネル音声で出力します。
＊マルチチャンネル：マルチチャンネル音声で出力します。

5

を押す

• **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

設定

あどばいす

• メニュー画面付きDVDソフトを再生したときは、ディスクメニューでも設定が必要となることがあります。
• HDMI接続している場合でも、接続機器の電源がオフのとき、HDMI音声の設定はできません。
• HDMI接続でスーパーオーディオCDを再生している場合、CDエリア以外は音声を伝送できません。アナログ接続にしてください。
• HDMI端子からの音声信号（サンプリング周波数、チャンネル数、ビット長など）は、接続される機器により制限されることがあります。

■ マルチチャンネル設定

●アナログ音声の場合

「音声設定」の[アナログ音声設定]を[マルチチャンネル]に設定すると「マルチチャンネル設定画面」が表示され、スピーカーの設定をする必要があります。

- 「マルチチャンネル設定画面」が表示されます。

● スピーカー設定（初期設定：大）

マルチチャンネルで接続しているアンプなどのスピーカーサイズを設定します。

＊フロント（L/R）/センター/サラウンド（L/R）

大　：100Hz以下の音声を再生できるスピーカーと接続したときに選びます。
小　：100Hz以下の音声を再生できないスピーカーと接続したときに選びます。
なし：そのスピーカーを接続していないときに選びます。(FRONT (L/R)では選択できません)

/を押して選択したい項目を選び、を押す

ENTER を押す

を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

＊サブウーファー（初期設定：有り）

有り：サブウーファーが接続されているとき選択します。
なし：サブウーファーが接続されていないとき選択します。

/を押して選択したい項目を選び、を押す

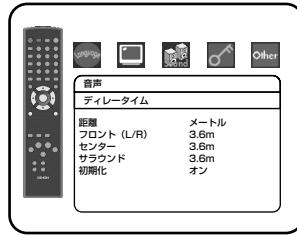
ENTER を押す

を押して選択したい項目を選び、を押す

あどばいす

- フロント（L/R）を[小]に設定している場合は、サブウーファーは[なし]に設定できません。
- サブウーファーを[なし]に設定している場合は、フロント（L/R）を[小]に設定できません。
- HDMI音声出力しているときはアナログの音声出力に制限がかかる場合があります。
- サブウーファーを[なし]に設定すると、低域コントロールは自動的に[オフ]になります。

● ディレータイム

5.1チャンネルサラウンドシステムを使用するときは、視聴位置から各スピーカー（サブウーファーを除く）への距離が均等であることが理想的です。このような環境で視聴できない場合、異なる距離からの音が同時に視聴位置に届くよう設定することができます。

＊距離：（初期設定：メートル）

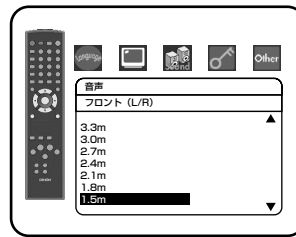
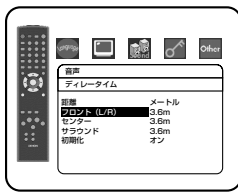
ENTER で距離の単位を［メートル / フィート］に切り換えます。

＊フロント（L/R）：（初期設定：3.6m）

0～18mの間で設定できます。

＊センター/サラウンド：（初期設定：3.6m）

フロント（L/R）の設定値によって決まります。

 / を押して選択したい項目を選び、 を押す

 を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

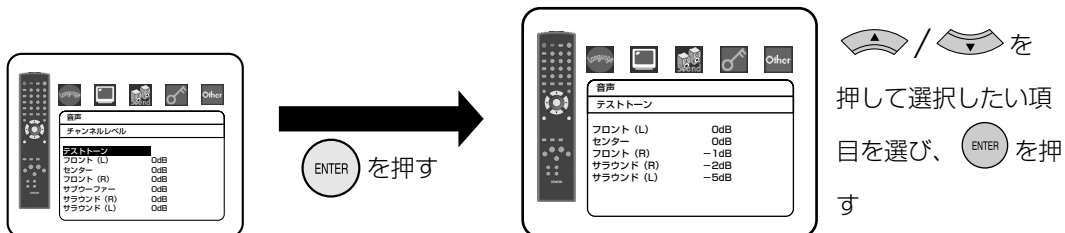
あどばいす

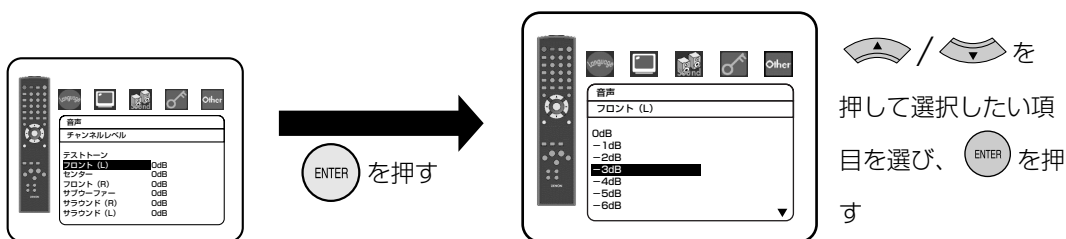
- スピーカー設定で、センターとサラウンドが[オフ]に設定されているときは、この項目は調整できません。
- [初期化]を選択して ENTER を押すと、すべての項目が出荷時の初期設定値に戻ります。
- スーパーオーディオCD再生時は、ディレータイムの設定は無効となります。

設定

→次ページへつづく

設定をかえる（セットアップ）

● チャンネルレベル
　スピーカーによって出力レベルが異なる場合、−12dBから0dBの範囲内で調整することができます。
　＊**テストトーン**：各スピーカーからテスト音声を出力します。

＊**フロント（L）/センター/フロント（R）/サブウーファー/サラウンド（R）/サラウンド（L）**
　：各スピーカーを選択して出力レベルを調整します。

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

あどばいす

- テストトーンを出力している間は、チャンネルレベルの調整はできません。
- テストトーンが選択されているときは、サブウーファーからテスト音声は出力されません。
- スピーカー設定で[オフ]に設定しているスピーカーは、この項目の調整はできません。

を押す

- 設定を完了し、「セットアップ画面」が消えます。

設定

●HDMI音声の場合

「音声設定」の[HDMI音声設定]を[マルチチャンネル]に設定すると「マルチチャンネル設定画面」が表示され、スピーカーの設定をする必要があります。

- **「マルチチャンネル設定画面」が表示されます。**

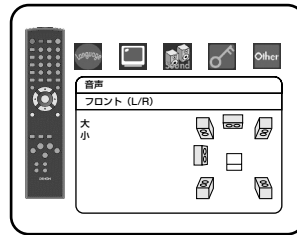
● スピーカー設定（初期設定：大）

HDMIで接続しているテレビなどのスピーカー設定を設定します。各スピーカーの有無については、自動で判別し、あると判断したスピーカーの大きさから選択します。

＊フロント（L/R）/センター/サラウンド（L/R）

大　：100Hz以下の音声を再生できるスピーカーと接続したときに選びます。
小　：100Hz以下の音声を再生できないスピーカーと接続したときに選びます。
オフ：そのスピーカーを接続していないときに選びます。(FRONT (L/R)では選択できません)
（あると判断したスピーカーは選択できません。）

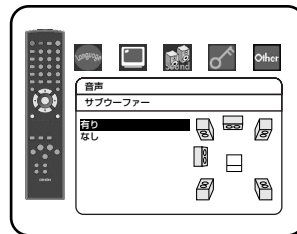
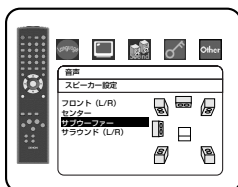
 / を押して選択したい項目を選び、 を押す

 を

押して選択したい項目を選び、 を押す

＊サブウーファー（初期設定：有り）

有り：サブウーファーが接続されているとき選択します。
なし：サブウーファーが接続されていないとき選択します。

 / を押して選択したい項目を選び、 を押す

 を

押して選択したい項目を選び、 を押す

あどばいす

- **HDMI音声出力しているときはアナログの音声出力に制限がかかる場合があります。**

＊ディレータイム/チャンネルレベルについては（71～72ページ）をご覧ください。

を押す

- **設定を完了し、「セットアップ画面」が消えます。**

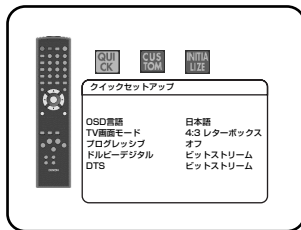
設定

設定をかえる（セットアップ）

■ **視聴制限設定**　再生中の場合、STOP ■ を押します。

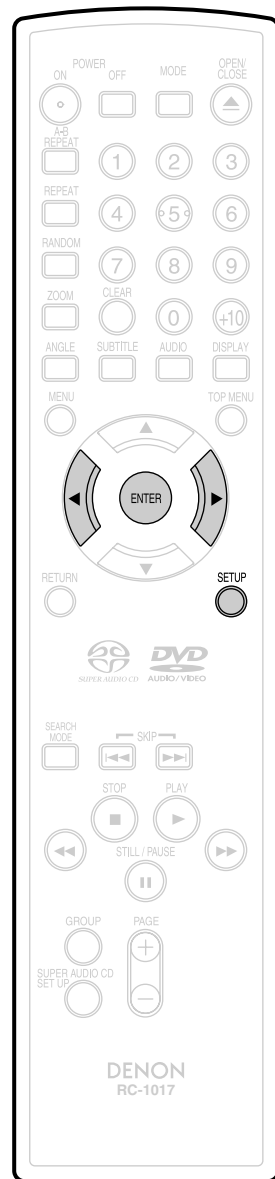
1　SETUP を押す

• 「セットアップ画面」が表示されます。（クイックモードが表示されます。）

2　 を押して “” を選択し、ENTER を押す

• カスタムモード（言語設定画面）が表示されます。

3　 を押して “” を選択し、ENTER を押す

• 「視聴制限設定画面」が表示されます。

設定

視聴制限について

お子さまが誤って本機を操作できないようにするための機能です。
ディスクによって、子供に見せたくないシーンをカットしたり、再生できなくするなど、視聴規制レベルが設定されているものがあります。本機では子供が設定を変えることのないように、パスワードで設定を保護することができます。
本機はディスクに視聴規制コードが記録してあれば視聴制限をかけることができます。視聴規制対応のディスクを再生したとき、暴力シーン等、子供には見せたくない部分を飛ばして見ることができます。
選んだ視聴規制レベルより上のレベルのディスクは、視聴制限を解除しないかぎり、再生できません。

4

数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力し、を押す。

- RETURN を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。
- 最初に設定をするとき、任意の4桁の数字を入力し、ENTER を押します。この数字は次回からパスワードとして使用されます。忘れないようにご注意ください。
- パスワードを入力して、視聴制限レベルとパスワード設定を変更することができます。
- 「4737」をパスワードにすることはできません。

● 「1、2、3、4」と入力した場合

5

▲/▼を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

● 視聴制限レベルを選択した場合

▲/▼を押してオールまたは8から1までの項目を選び、ENTER を押します。

オール

視聴制限をオフ状態にします。

レベル7から2

一般用と子供向けのDVDソフトウエアのみ再生できます。

レベル 8

どのグレードのDVDソフトウエア（成人､一般､子供）でも再生できます。

レベル1

子供用のDVDソフトウエアのみ再生できます。
成人向け､一般用のソフトウエアは利用できません。

● パスワード変更を選択した場合

数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、ENTER を押します。

6

SETUP を押す

- 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

パスワードを忘れたとき

手順4で以下の操作を行ってください。
※リモコンの[4]、[7]、[3]、[7]の順にボタンを押すと、すでに入力されていたパスワードが解除されます。

あどばいす

- 設定した方法で、視聴制限機能が作動するか確認してください。
- パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。

設定

■ その他の設定

再生中の場合、STOP ■ を押します。

1

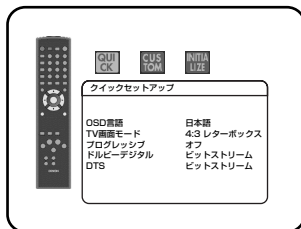
SETUP ◯ を押す

• 「セットアップ画面」が表示されます。（クイックモードが表示されます。）

2

 を押して "" を選択し、ENTER を押す

• カスタムモード（言語設定画面）が表示されます。

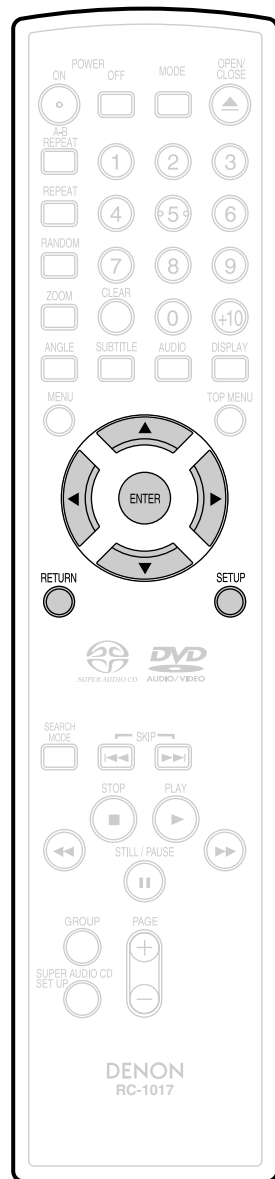
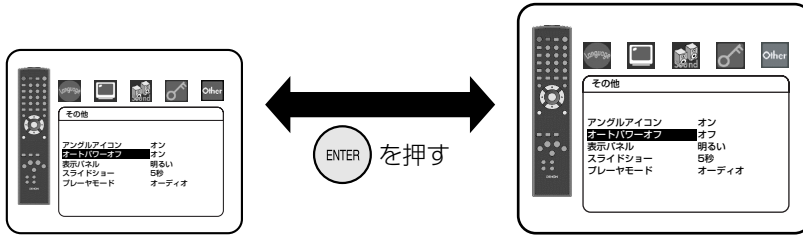
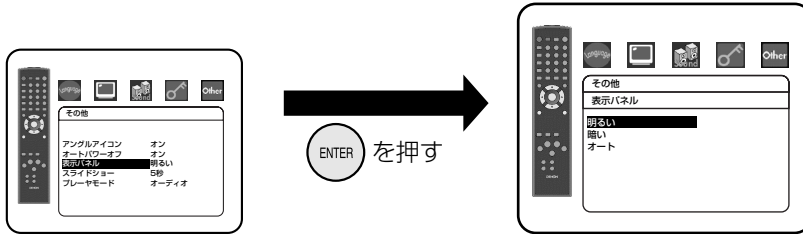
3

 を押して "" を選択し、 を押す

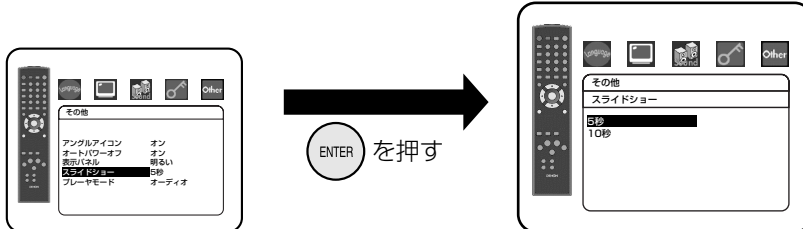
• 「その他設定画面」が表示されます。

4

 を押して選択したい項目を選び、 を押す

• RETURN を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

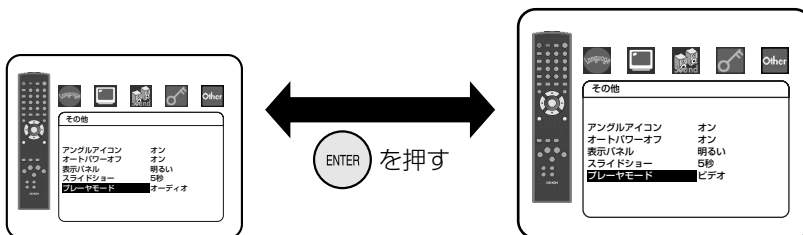
● **アングルアイコン**（初期設定：オン）
画面上にアングルアイコンを表示／非表示します。

● **オートパワーオフ**（初期設定：オン）
静止または停止状態が30分間続くと、電源が自動的に切れるように設定できます。

● **表示パネル**（初期設定：明るい）
本機表示パネルの表示輝度を調整します。
＊オート：再生中のみ暗転します。

▲/▼ を押して
選択したい項目を選び、
を押す

● **スライドショー**（初期設定：5秒）
JPEG再生時のスライドショー時間を設定します。
＊5秒　：約5秒ごとに画像が切り換わります。
＊10秒：約10秒ごとに画像が切り換わります。

▲/▼ を押して
選択したい項目を選び、
ENTER を押す

● **プレーヤモード**（初期設定：オーディオ）
DVDオーディオにDVDビデオコンテンツが含まれているとき、DVDオーディオとして再生するか、DVDビデオとして再生するかを設定します。
＊オーディオ：DVDオーディオをそのまま再生するときに選択します。
＊ビデオ　　：DVDオーディオに含まれるDVDビデオコンテンツを再生するときに選択します。

を押す

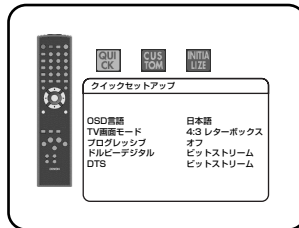
• **設定を完了し、「セットアップ画面」が消えます。**

設定

■ 視聴制限設定以外の設定を初期化する

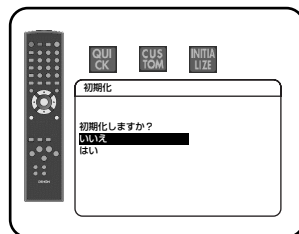
1

 を押す

- 「セットアップ画面」が表示されます。（クイックモードが表示されます。）

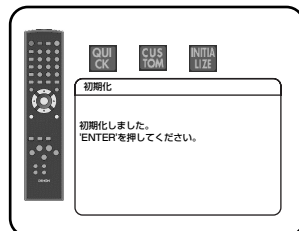
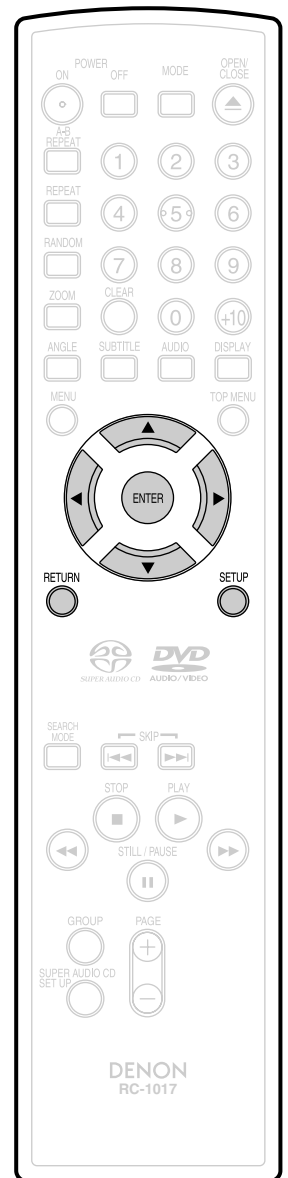
2

 を押して“”を選択し、 を押す

- 「初期化画面」が表示されます。

3

 を押して“はい”を選択し、 を押す

- 初期化が実行されます。
- RETURN を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

4

 を押す

- 設定を完了し、「セットアップ画面」が消えます。

故障かな？と思ったら

■ ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買上げの販売店にお問い合わせください。

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
電源が入らない	※電源プラグがはずれている。 ※停電で電源が切れている。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。 ●安全保護装置が働いていることがあります。このときは、1度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください。	――― ―――
リモコンで操作できない	※リモコンが本機の受光部に向いていない。 ※リモコンと本機が離れすぎている。 ※リモコンと本機の受光部の間に障害物がある。 ※リモコンの電池が消耗している。 ※リモコンに水など水分を含む物をこぼした。 ※本体が故障している可能性があります。	●リモコンを本機の受光部に向ける。 ●7m以内の所で操作する。 ●障害物を取り除く。 ●電池を交換する。 ●リモコンの交換が必要です。お近くの販売店にご相談ください。 ●ラジオを利用し、次のようなチェックを行ってみてください。 AM放送で放送局のない周波数(雑音のでる状態)に合わせ(音量は大きめ)、ラジオのそばで任意のボタンを押します。雑音の中にブ、ブ、ブのような音が聞こえてきましたらリモコンは正常と考えられますので、本体が故障している可能性があります。**お近くの販売店や弊社サービスセンターにご相談ください。**	16 16 ――― 16 ――― ―――
画像がでない	※映像接続コードがはずれている。 ※再生できないディスクが入っている。 ※コピーガード機能が働いている。 ※HDMI出力モードを480P, 720Pまたは1080に設定している。 ※ピュアダイレクト中はHDMIの映像出力はOFF状態になります。 ※HDMIで出力されているときは、D端子からはプログレッシブ出力されません。 ※HDMI接続で映像が映らない。	●映像接続コードをしっかり接続する。 ●再生可能なディスクか確認する。 ●再生できる種類のディスクを入れる。 ●本機とテレビを直接接続する。 ●D端子からプログレッシブ映像を出力する場合は、HDMI出力モードをOFFにしてください。 ●ピュアダイレクト機能を解除してください。 ●HDMI出力モードをOFFにしてください。 ●HDMIの接続を確認してください。（HDMI LEDの点灯状態を確認してください。） ●接続されたモニター機器などがHDCPに対応しているかどうか確認してください。 （本機はHDCP対応機器でないと映像出力しません。） ●HDMI選択の設定が接続とあっているか確認してください。 ●接続されたモニター機器の対応入力フォーマットと本機の出力フォーマットがあっているか確認してください。	18 9～10 9～10 18、19 22 55 22 22 22 22 22
再生が始まらない	※結露が発生している。 ※ディスクが入っていない。 ※ディスクが裏返しに入っている。 ※ディスクが汚れている。 ※視聴制限設定が有効になっている。	●電源プラグをコンセントへ差し込み、約1～2時間放置する。 ●ディスクを入れる。 ●ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直す。 ●ディスクを清掃する。 ●視聴制限設定を解除するか、規制レベルを変更する。	7 24 24 7 74～75
音声がでない	※音声接続コードがはずれている。 ※音声出力の選択が正しくない。 ※音声接続をしている機器の電源が入っていない。 ※音声接続をしている機器の入力切換が正しくない。 ※ピュアダイレクト中はHDMIの音声出力はOFF状態になります。 ※音声モードがアナログ設定の場合は音声は出力されません。	●音声接続コードをしっかり接続する。 ●音声出力の選択を正しく行う。 ●音声接続をしている機器の電源を入れる。 ●音声接続をしている機器の入力切換を正しく行う。 ●ピュアダイレクト機能を解除してください。 ●音声モードをHDMIにしてください。	18～21 66～73 ――― ――― 55 66～69
スーパーオーディオCDの音声がでない	※デジタル音声出力端子に音声コードを接続している。	●5.1ch音声出力端子に音声コードを接続する。	23
映像が乱れる	※コピーガード機能が働いている。 ※早送り、早戻しをした直後である。 ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している。 ※プログレッシブスキャンモードになっている。（表示パネルに“P.SCAN”が点灯している。）	●本機とテレビを直接接続する。 ●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。 ●本機から離して使用する。 ●D1のみ対応のテレビとD端子で接続しているときは、「プログレッシブ」を[オフ]にしてください。	18、19 ――― 25 19、64

故障かな？と思ったら

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
セットアップで選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDソフトにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDソフトにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	46～48 60～62
アングルを変えて見ることができない	※DVDソフトに複数のアングルが記録されていない	●DVDソフトに複数のアングルが記録されているか確認する	49
音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDソフトに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDソフトにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	46～48
テレビ画面に“⃠”が表示され、操作できない	※本機またはディスクがその操作を禁止しています	●故障ではありません	25
再生中に画像が動かなくなる	※ディスクがDVDソフトの仕様を満たしていない ※ディスクが汚れている ※ディスクにキズがある ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった	●DVDソフトの仕様を満たしているディスクと取り換えて再生する ●ディスクを清掃する ●キズのないディスクと取り換えて再生する ●映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません	― 7 ― 24
勝手に電源が切れる	※停止状態で30分経過すると、自動的に電源「切」状態になります	●再度、電源を入れ直す	77
ディスクエラー --ディスクを取り出してください。-- 再生可能なディスクを挿入してください。 と画面表示される	※再生できないディスクが入っている ※ディスクが汚れている ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクにキズがある	●再生できるディスクを入れる ●ディスクを清掃する ●ディスクのラベル面を上にして正しく入れ直す ●キズのないディスクと取り換えて再生する	9～10 7 24 7
リージョンエラー --ディスクを取り出してください。-- この地域での再生は禁止されています。 と画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている	●リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる	10
パレンタルエラー 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。 と画面表示される	※視聴制限設定が有効になっている	●視聴制限設定を変更する	74～75

あどばいす

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。

あ行

か行

さ行

た行

索引

は行

ま行

ら行

英数字

用語の解説

用語	説明
D1/D2映像出力端子（D端子）	デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号です。D映像入力端子やコンポーネント映像入力（Y、PB/CB、PR/CR）端子でテレビと接続することにより、よりきれいな映像が楽しめます。
DRC	ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と最小の信号レベルを上げ、最大の信号レベルを下げて音声の強弱の幅を調節します。DRCオン／オフを切り換えることにより、破裂音のような強い音が低減される一方、人の会話などはっきり聞こえるようになるため、深夜に映画を見るときなどに効果があります。
DTS	Digital Theater Systemの略です。デジタルシアターシステムズ社が開発したデジタル音声システムです。音声6chを使って、正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。ドルビーデジタルとは異なるサラウンドシステムです。
HDMI 端子	HDCP（コンテンツ保護機能）に対応したプレーヤーとモニター（またはAVアンプ）をHDMI 端子で接続しDVDビデオ等の映像を再生します。
HDCP	HDCP (High-band with Digital Content Protection System) と呼ばれる著作権保護機能で、データの暗号化と接続機器の認証からなるコピープロテクション技術です。
JPEG	Joint Photographic Experts Groupの略でジェーペグと読みます。静止画像などを圧縮、伸長させる機能を持ったアルゴリズムです。
MP3	MP3ファイル形式で圧縮された音楽データのことです。本機ではMP3ファイル形式で記録されたCD-ROM、CD-R、またはCD-RWディスクを再生することができます。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDソフトの映像/音声はこの方式で記録されています。
WMA	Windows Media Audioの略です。アメリカ合衆国、マイクロソフト社によって開発された音声codecです。
拡張子	OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。
視聴制限	ディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
初期設定	本機でディスクを再生して楽しむための、映像出力設定や視聴制限などがあらかじめ設定されています。
ズーム	テレビ画面で見ている映像の一部を、拡大表示する機能です。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。
ダイナミックレンジ	ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル（dB）単位で測定されます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。

用語の解説

用語	説明
トラック	音楽用CDの各曲をトラックといいます。
ドルビーデジタル（5.1ch）	ドルビー社が開発した立体音響効果のことです。5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタルを楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。
光デジタル音声出力	音声は通常、電気信号に変えてDVDソフトからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル音声出力です。
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
ビットレート	ディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量をあらわします。
マルチアングル	同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。
リジューム	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。
リニアPCM	PCMとはPulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号です。音楽用CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、音楽用CDよりも高音質の音声が楽しめます。
リニアPCM音声	音楽用CDに用いられている信号記録方式です。
リージョン番号（再生可能地域番号）	DVDソフトには、各国に合わせて再生できるディスクが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
4:3レターボックス	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。 テレビ画面
4:3パンスキャン	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。 テレビ画面

その他

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

出力信号形式		NTSCカラー方式
対応ディスク		DVDオーディオディスク/DVDビデオディスク スーパーオーディオCD/音楽用CDディスク ビデオCDディスク
端　子	S映像出力	Y出力レベル：1Vp-p (75Ω) C出力レベル：0.286Vp-p 出力端子：S端子　1系統
	映像出力	出力レベル：1Vp-p (75Ω) 出力端子：ピンジャック　1系統
	D1/D2映像出力	Y出力レベル：1Vp-p (75Ω) PB/CB出力レベル：0.7Vp-p (75Ω) PR/CR出力レベル：0.7Vp-p (75Ω) 出力端子：D1/D2端子　1系統
	HDMI 出力	出力端子：24ピンHDMI 端子　1系統
	デジタル音声出力	出力端子：光出力端子　1系統 同軸出力端子　1系統
	アナログ音声出力	出力レベル：2Vrms 2チャンネル（L/R）出力端子：ピンジャック　1系統 マルチチャンネル（FL/FR/C/SL/SR/SW)：ピンジャック1系統
周波数特性		DVD（リニアPCM） 4Hz～22kHz（48kHzサンプリング周波数） 4Hz～44kHz（96kHzサンプリング周波数） 4Hz～88kHz（192kHzサンプリング周波数） スーパーオーディオCD 4Hz～100kHz CD 4Hz～20kHz (JEITA) ※
信号対雑音比（S／N比）		CD：115dB
ダイナミックレンジ		DVD：100dB、CD：98dB
総合ひずみ率		CD（1kHz）：0.004%
電　源		AC100V　50/60Hz
消費電力		15W（スタンバイ時：約0.9W）
最大外形寸法		435mm（幅）x 75mm（高さ）x 310mm（奥行）（突起物を含む）
質　量		約2.6kg

リモコンユニット	RC-1017
リモコン方式	赤外線パルス式
電　源	DC3V　単3乾電池2本使用

※(社)電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

アフターサービスについて

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

1 この商品には保証書が添付されております。保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所（デノンサービス網一覧表参照）が修理を申し受けます。
（但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。）
その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。詳しくは、付属品「製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表」をご参照ください。

6 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音や再生などの機会を逸したために発生した侵害などの付随的な損害の補償については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

7 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

8 この商品に添付されている保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033　東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー14F

お客様相談センター　TEL: 0 4 5 - 6 7 0 - 5 5 5 5
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次のURLでもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください			
購入店名：		電　話（　　-　　-　　）	
ご購入年月日：	年	月	日

Printed in China　　00D 511 4570 104
E6AE2JD
1VMN23310A★★★★